

秋のスクーター商戦にダッシュ!

Let's **TRY** Fair 開催中

特集: '85バイクの夏総決算



テレビCFと連動の全国統一キャンペーン

# Let's TRY Fair

## で、秋のスクーター商戦にダッシュ!

トライの集中的な拡販展開によって、秋のスクーター商戦に弾みをつけていただくとうとヤマハでは、8月25日から10月末日まで全国統一キャンペーン『Let's TRY Fair』を開催しています。

この『Let's TRY Fair』は、16才～18才の高校生を中心とするヤング層、18才～20才の大学生を中心としたキャンパスユーザー層、さらに20才代前半のヤングサラリーマン層をターゲットに展開するもの。

その内容は、成約プレミアムキャンペーン『TRYペアウォッチプレゼント』と来店促進プログラム『贈ろう! TRYスタッフトレーナープレゼント』の2本立です。

このうち『TRYペアウォッチプレゼント』は、TRYの指名買い促進とあわせて、『ペア』(プレゼントがふたつ)というユニークなプレミアム設定によって、購入されたお客さまばかりでなく、その周辺のターゲット層にもTRYの話題が拡大浸透していくことを狙ったものです。

また『贈ろう! TRYスタッフトレーナープレゼント』も、『ペア』を切り口にヤング層の来店を促進し、ヤングの話題づくりを図るものです。

そして、このキャンペーンを強力にバックアップするのが、左ページのTRYニューテレビCF。さらに、このテレビCFと連動した店頭POPやキャンペーン告知ツールも豊富に用意いたしました。

どうぞ、担当のヤマハセールスマンとご相談のうえみなさまのお店の秋のスクーター商戦のスタートダッシュに、このテレビCFと連動した『Let's TRY Fair』をお役立てください。[ただし、北海道地区を除く]

### 店頭POP、キャンペーンツール



●車体タッグ



●横幕



●キャンペーン告知ポスター



●DMキット



●シーリングPOP



## TRYニューTV・CF

エネルギッシュなシャウトに乗って俊敏なフットワークを披露するTRY。ロサンゼルスにロケしたTRYニューCF「ガールズ編」と「ベア編」が、『Let's TRY Fair』を強力にバックアップします。  
 ※このニューCFは、全国でスポット放映される他、ヤマハ提供番組『月曜ロードショー』（TBS系、月曜午後9時）でもオンエアされます。

Let's TRY!

乗ってみたいか、  
 トライの気分。

Let's TRY!

Let's TRY  
 TRY TRY  
 again!

Let's TRY!



\*キング。の復活をしようとつめかけた大観衆に、期待どおりの豪快な走りで応えたケニー・ロバーツ



スプリントの王者・平也。安定した走りマベストパートナー・ロバーツを奪得

# '85バイクの夏 総決算

ヤマハファクトリーは、クールな展開で、終始レースをリードしていた



テク2 ガルズも登場



ほぼ50分毎のピットイン。ライダー交替、ガス補給、タイヤ交換が手際よく行なわれていく

# FZR旋風スズカを席卷！ キング・ケニー／平忠彦組、話題独占の鈴鹿8時間耐久レース

7月27、28日の2日間に24万人もの若者を三重県・鈴鹿サーキットに集めて開催された'85世界選手権第3戦・鈴鹿8時間耐久レース。これこそ、この夏世界中で最もホットなバイクイベント。そして、その主役はライトブルーのカウルも鮮やかな1台のFZR750、"キング"ケニー・ロバートと平忠彦のヤマハ・テク21チームだった。

## ケニー、ラップレコード樹立で "キング健在"を証明

ヤマハファクトリーチームの本格参戦で過去最高の盛り上がりを見せた6年目の世界選

手権・鈴鹿8時間耐久レース。そんな中で、夢のコンビ・ケニー／平組に対する"FZRファイバー"は、早くも公式予選からエスカレーターを始めていた。

7月27日の、2度目のプラクティスで、ケニーが2分19秒956の最高タイムを叩き出したのだ。これはF1クラスのスズカサーキット最高ラップ記録。世界GPの現役ライダー、世界選手権シリーズを追う耐久のスペシャリストとして、誰よりもスズカを走り込んでいる国内のトップライダー……それらすべてを押えて、1年半ぶりにサーキットに復帰したケニーが、初めてのコース、初めての耐

久マシンで、唯一人2分20秒の壁を突き破る大記録を樹立して、"キング"健在を証明したのだった。

## ドラマは、 シグナル青とともに始まった

7月28日、午前11時30分、シグナル・青とともに60台のマシンが8時間の熱闘を開始した。ここでもケニーが、このレースの話題の過半を占める大きな見せ場をつくり出した。ポールシッターのケニーは、始動に手間どり、ほぼ最後尾からのスタートとなったのだ。

1周目から驚異的なハイペースでの追撃が開始された。4周目で14位。10周目、わずか30分足らずで50台以上を抜き去り6位にまで浮上してきた。直線で、コーナーで、いとも簡単に前車をラップして行くケニーとFZR750の姿に大観衆の眼は完全に釘付けとなった。そして、20周目のホームストレッチ、総立ちの観衆の大きな拍手と歓声の中で、G・コールドレイを抜き去り、ついに2位に進出した。

## 最高のパートナーぶりを発揮した平

約50分、22周目。ケニーから平へとバトンタッチ。早目早目のライダー交替は、猛暑を考慮したヤマハチームの作戦でもあった。そして、もつか国内では無敵の快進撃をつづける平も、初めてのFZR750をじつに見事にあやつり、ケニーに負けず劣らずのドラマを演じて観衆を熱狂させていった。

トップとの差30秒を、またたく間にばん回し、スタートから1時間32分後の38周目、ついにトップに踊り出たのだ。

"キング"ケニーのパートナーとして、耐久レース初出場の平忠彦の走りは、ある面でケニー以上に注目されていたが、彼は2分25秒台のハイペースでコンスタントに走りつづ



レース前、プレス関係者などの評価は、テク21チームよりも高いものがあつたもう1台のFZR750、河崎裕之／上野真一組。一時は5位を走りながら、途中の転倒がたつてしまった。

け、"キング"との最高のコンビネーションで、終始レースをリードしていったのだ。そして6時間、140周を経過した時点では、3位を行く徳野をラップ。同一周回数わずか1台という圧倒的リードを奪うほど、平の走りは安定したものであった。

★

誰もがケニー／平組が、トップでチェッカーを受けるだろうと信じ始めた7時間31分後、FZR750を襲った運命のトラブルによって、あと29分を残してリタイヤのやむなきに至ってしまったことは、周知のとおりである。しかし、7時間31分、182周にわたってくりひろげた"キング"ケニーと平忠彦の激走は、つめかけた24万人の若者の胸に、この夏最高の思い出として、くつきりと焼き付いているにちがいない……。



★もりあがるY.E.S.S.の祭典★  
 観て、参加して、5万人が楽しんだ  
**ヤマハ・サマーフェスティバル**

恒例の真夏の祭典、ヤマハ・サマーフェスティバルが、今年も全国8ブロック・7会場で大いにひらかれました。参加人数延べ5万人にもものぼった今年のフェスティバルは、例年にもまして、お客さま同志、お客さまとお店、さらにお客さまとヤマハの連帯感を一段と高めたもの。また、チャリティオークションなどを通じて寄せられた多大な収益金は、各主催者を通じて、それぞれの地域に還元させていただきました。



55サマーフェスティバル各社協賛各社  
 日本電装株式会社 ●ワールド通商株式会社 ●伸和印刷  
 株式会社ADオーバースーズ ●東北カラーデュー  
 トライアルの伊藤敦志選手、ロードレースの河崎裕之、奥村裕両選手そしてモトクロス  
 の庄司覚選手（左から）を迎えて、最高にもりあがった前夜祭・ミッドナイトフェ  
 スティバル

**東北**  
**モータースポーツの祭典に  
 のべ5000台が参加!**

モータースポーツのメッカ・スポーツランドSUGOに、2日間にお  
 たつくりひろげられた「サマーフェスティバル・イン・SUGO」。  
 8月3日の前夜祭から8月4日のロードレース、モトクロス、トライア  
 ル、ロードコース体験走行まで「モータースポーツの祭典」にふさわし  
 い、イベントが展開されました。

このうち、'85バトラックス3時間耐久レースとして行なわれたロード  
 レースには、延べ165名が参加。RZ250、FZ250フェーザー、  
 FZ400Rなどを駆って2人1組で疾走するライダーに、チームメイ  
 トのさかんな声援が送られて、もり上がりも最高。FZ400Rの文屋  
 万寿夫／安海勇一のチームレーシーベアが、3時間で140周を回り総  
 合優勝しました。

また、SUGOハイランドで行なわれたモチュール杯SLモトクロス  
 第2戦には、220台が参加。クシタニ杯SLトライアル第3戦では62  
 台が日頃のウデを競いあいました。

# '85バイクの夏 総決算

今年2年目のスクーター耐久レースには、レディスクラスも新設。キュート、JOG、チャンプ、トライ、乗り慣れた愛車でスタートを待つレディス・ライダーのみなさん

## 北海道

# 7500人が観て、 参加して楽しんだ!

全日本選手権・北海道モトクロス大会の会場として親しまれている虻田郡留寿都村のルスツ高原モトクロス場に、全道から7500人にのぼるライダーを集めて開かれた「サマーフェスティバル・イン・北海道」。

なんといっても、この特徴は、お客さまが観て楽しむ催し、直接参加して楽しむイベント、あわせて16種類ものプログラムが、2日間に渡ってにぎやかにくりひろげられたことです。

第1日目の呼び物、日航杯をかけてのスクーター耐久レースは、レディスが1時間、一般が5時間の長丁場。クラブ員を代表して深夜の力走をつづけるライダーに、チームメイトの熱狂的な声援が送られていましたが、レディスでは函館マジマチームが上位を独占。また一般Aでは札幌ツリーリングチーム、Bでは札幌・萬屋客進憑チームがそれぞれ優勝。また2日目はのべ208名が参加したモトクロスやトライアルに熱戦がつかっていました。

とくにXTやDTなどトレールユーズーの人気を呼んだ鈴木秀明選手(中央)のモトクロススクール



PW50/80から、道新スポーツ杯をかけてのノービス、SL杯をかけてのジュニア、国際B級までのべ208台が参加したモトクロス大会



### 参加者からひとこと



●XT250Tで鈴木秀明選手  
のモトクロススクールに参加した鎌田洋一さん(札幌市・21才・会社員)

「販売店でフェスティバルに行けば秀明選手の指導が受けられるヨ」って言われてとんで来ました。林道でもモトク

ロステクニクは必要ですからね。それと、一般車で参加できるエンテューロにも出てみたいからです。

秀明選手の解りやすく親切な指導は最高でした。あんな大選手とこんなに身近に接して、いい汗かいて、最高の思い出ができた。この夏一番の収穫でした。

バイクファンが集まり、ライダーなら誰でも参加できるヤマハのフェスティバル。もちろん来年も来ますけど、こんな催しが年に1度だけなんて、ちょっと残念ですね



ライダーとピットクルーに、応援団も加わって、みんなで楽しんだ3時間耐久ロードレース



←競技の他に、ウィリー大会やスクールも開かれて人気を呼んだトライアル

●愛車FZ400Rでロードコース体験走行会に参加した鈴木一広さん(郡山市・23才・運転手)

「FZ400Rに乗っていますが、とにかく今はロードレースに興味を持っています。RZでも買ってニュープロクラスでようかな、なんて考えているんです。

ですから、今回は当然、サーキットランを体験すること、3時間耐久ロードレースを観戦することの2つに目的を絞ってきました。サーキットランが3時からなので、それまではロードのバドックでいろんなマシンの見学です。全日本なんかと違って、ロードレースといってもファミリームードがいっぱいなのですごく楽しそう。マシンも間近に見られたし、これぐらいなら僕でもやれそうと思いました。

ロードレースのほかにも、トライアルやモトクロスなどあちこちで競技が行なわれているみたいですけど、来年はぜひ参加者という立場でSUGOに来たいですね」



### 参加者からひとこと



関西

YESSS仲間、スクーター  
耐久レースに大フィーバー

関西2府4県の各地から約20000人のYESSSスタッフが兵庫県三木市のレクリエーションランド・グリーンヒア三木に集合して楽しんだ「サ



↑皮ツナギ姿のライダーが、早朝からぞくぞくとフィスコにやって来る

→2日間にわたって行なわれたフィスコ体験走行会には、なんと3,000人にもものぼるライダーが参加



フィスコのグラウンドスタンドを埋めた人、ヒト、ひと……その数25,000人に

関東・中部

キングケニーもまじえて、  
バイク仲間25000人の祭典

他の地域に先がけて、7月20日、21日の両日に行なわれた「サマーフェスティバル・イン・FISCO」は、ヤマハ東京株とヤマハ中部株の合同主催によるもの。

折りから鈴鹿8時間耐久レース出場のため来日中の、キングケニー・ロバート選手も特別参加するとあって、会場の富士スピードウェイには、レザースーツスタイルのお客さまが愛車を駆ってぞくぞくと来場。その数は、25000人にもものほりました。

こうした中で、広大なフィスコの各所ではモトクロス(参加547台)、トライアル(参加146台)、スクーターレース(参加241台)、カート(参加152台)……の各レースがにぎやかに展開されていました。

また、実戦派以外のお客さまにとつてのお目当ては、サーキット体験走行会や安全運転パッチテスト、そして、セロー225をはじめとするニューモデルでの試乗会。

こうして、レースやイベントに参加する人、それを観る人、さらに仲間を応援する人……とフィスコにつめかけた、すべての人が心ゆくまでエンジョイしたモータースポーツの1日。それは、まさにライダーの一大フェスティバルにふさわしいものでした。

※キングケニーもFZ750で登場！  
鈴鹿より1週間早い顔見せに、スタンドも一段とフィーバー







マーフェスティバル・イン・三木。参加した135店の販売店さんもすべてYES S加盟店というように、このフェスティバルは文字通りのYES Sスタッフとショップの祭典となりました。そんな中で、参加者の人気を集めたのがスクーター耐久レース。4日、午前0時にスタートしたこのレースは、3人1組で行なうものでエントリー1400台、つまりライダーだけで1200人にもものぼるビッグレースとなったのです。方、競技以外では3日夕方からの前夜祭が人気のマツ。野外ステージでは早喰いトライアスロン、2府4県對抗つな引き大会などとあわせてトライアルの加藤文博、ロードレースの江崎正の両ゲストライダーによるアトラクションやデモ走行も行なわれ、つめかけたYES S仲間からヤンヤのかっさいが上がっていました。



**参加者からひとこと**  
 ●いつもはヤングライフの足として使っているまっ赤なトライで、スクーターレースに初出場の生駒孝二さん(神戸市・17才・高3)「行きつけの販売店、YOUオートショップ(兵庫県明石市)で、YES S会員だけのスクーター耐久レースがあるヨ」って聞いて、さっそく参加しました。レースといっても、スクーター耐久なので、なんかのんびり走れるし、遊びの感覚いっぱい、とても楽しいですね。スクーターでこんなことも楽しめるんだなっていうのが新しい発見。またひとつホビーが増えた気分です」



駐車場に設定された1周1キロのコースを、ジョグが、チャンプがトライが疾走する



加藤選手(左)の妙技も披露された前夜夜祭

**中国**  
**クラブ対抗、**  
**お店対抗で一段とハッスル!**

昨年と同じ鳥取県日野郡の大山鏡ヶ成国民休暇村で開催された「サマーフェスティバルイン・大山」。

中国地区のYES S加盟店会が中心となつて企画した今年のフェスティバルは、クラブ対抗スクーター運動会やクラブ対抗かくし芸大会など、クラブ対抗、販売店さん対抗の要素をつよく打出しただけに、参加者のフィーバーも一段と熱っぽいものになりました。

そんな中で、とくに人気を呼んだのは、バイクトライアスロンと銘打ったスクーター運動会。5人1組で35チームも参加していました。また、前夜祭では、ヤマハに対してお客さまの認識度を競うクイズ大会やミス・ヤマハコンテストも開催。参加したお客さま同志、お客さまと販売店さんの親睦を大いに深めた有意義な2日間となりました。



前夜祭の人気ナンバーワンは、ミス・ヤマハコンテスト



↑キャンプファイヤーを囲んでの大ディスコ大会

→5人が1チームとなって楽しんだ、バイクトライアスロン



# 四国 全員参加で もりあがりも最高潮

愛媛県久万町の久万高原ふるさと旅行村に、四国4県から多数のバイク仲間が詰めかけて開かれた「サマーフェスティバル・イン・四国」。

1等・ヤマハボート「つりっ子太郎」が当るジャンケン大会やギヤルライダーコンテストなどプログラムもすべて、集まったお客さまの誰もが出場できる内容とあって、お祭りムードも最高潮。そんな中で「本当にライダーのためのフェスティバルですね。全員参加で全員が楽しんでいましたからね。ぜひ来年も参加したいと思っています」という声が多くあがっていました。



↑来場者はすべて参加者、とあってもり上がりもまさに最高



→久万高原の特設ステージを囲んでロックコンサートやキャンプファイヤー、楽しいゲームがつづいた四国大会

# 九州 ムーンライト・フェスティバルで ライダー同志の交流を深める



未来の国際A級たちもPW80を駆って光安選手（左端）と腕くらべ

参加者からひとこと



●RZV500Rを駆って福岡県宗像郡から参加の進野誠さん（29才・会社員）

「サマーフェスティバルは、これで2度目です。最初は行きつけの「オートショップ」さんに勧められて、店のクラブ・K1W1の人達と一緒に参加したんですが、とても楽しかったのもまた来ます。

みんながひとつの目的で集まり、クラブに関係ない人たちとも気軽に話せる。バイクという共通の趣味を通しての仲間たちとの出会いがとても楽しい。その感動が忘れられなかつたんです。クラブのメンバー20名と一緒にすぐと来る時は仕事の都合でバラバラ。でも前夜祭では夜遅くまで一緒にもりあがりしました。明日は坂口選手のトライアルを見てから阿蘇を走って帰ります。

サマーフェスティバルは、うちのクラブの恒例行事。九州各地のバイク仲間との再会を楽しみに、来年も必ず来ます」

昨年までの大分県飯田高原から九州のほぼまん中、雄大な阿蘇の外輪山に面した熊本県のスコレ菊地高原に会場を移して「サマーフェスティバル・イン九州」が開かれました。

8月3日、会場には1千名にのぼるライダーが、思い思いのツーリングを楽しみながら大集合。プログラムももりだくさんの前夜祭を中心に、いろいろなゲームやキャンプをエンジョイしました。

とくに前夜祭・ムーンライトフェスティバルで行なわれたモトクロス選手の光安鉄美選手とトライアルの坂口澄男選手のチャリティ・オークションでは参加者から94、400円もの善意が寄せられ、その全額がヤマハ九州を通じて菊地市の交通遺児のために寄附されました。翌8月4日は、坂口選手のトライアル・デモ走行やPW80を使つてのチビ子レースがにぎやかにくりひろげられ、2日間渡るYESS仲間の祭典は幕を閉じたのです。

YESS加盟ショップさんのプラカードを手にしたクラブ代表の紹介から、前夜祭はスタート



**'85バイクの夏  
総決算**

**ノービスライダーの甲子園「4時間耐久」にFZ400R大挙出場!**

鈴鹿8時間耐久レースやヤマハ・サマーフェスティバルの他にも、この夏の日本列島にはバイクイベントがめじろ押し。そんな中から、とくにお客さまの話題を集めた3つのイベントをご紹介します。



↑①スズカサキチーム・佐藤学身/永尾明史組のFZ400Rをポールポジションに、63台のマシンが熱戦を展開したノービス4時間耐久レース。この半数以上はFZ400R

鈴鹿4時間耐久レースといえば、ロードレースに出場するノービスライダーにとつては、高校球児の甲子園にも匹敵する真夏の祭典。このレースで今年とくに注目を集めたのがFZ400Rでエントリーしたライダーの多さです。

**決勝レースの2台に1台はFZ400R**

F3クラスとSS400クラスあわせて534台という多数のエントリーを集めた鈴鹿4時間耐久レース。このうち、FZ400Rをはじめとするヤマハマシンでの出場は、2



↑安定したペースで、4時間を走りぬき2位入賞を果たした滝本/前山組のFZ400R

←表彰台でも、喜びを満面に表す前山(左)滝本のチーム・スポーツショップ・イシイ組



04台、全体の36・3%にのぼったのです。

しかも、この534台の中から厳しい予選を通過して決勝の晴れ舞台に進出したのは、63台。そして、なんとそのうちの52・4%つまり半数以上はヤマハだったのです。とくに、ほぼノーマルに近い、SS400クラスにFZ400Rの参加が目立つのは、それだけFZ400Rの総合性能に、レーシングライダーの高い「信頼」が集中していること、何よりの証明です。

さて、8時間耐久レース決勝の前日、7月27日、午後2時に熱戦の火ぶたを切ったノービス4時間耐久レース。この日だけでも、じつに8万人を超える大観衆が詰めかけていましたが、こんなところにも8時間耐久の添えものではない、ノービス4時間独自の人気の高さが表われているようです。

そんな中で、FZ400Rを駆るライダーは、滝本明/前山次夫のチーム・スポーツショップ・イシイ組の2位、橋和靖史、難波恭司のヒロシマ・ホイールキッズ組の3位をはじめ上位10台中の5台を占める大活躍。大同工大MCSの高橋洋之/西谷寿秀ペアのFZ400Rが、みごと総合5位、SS400クラス優勝に輝いたのです。

「昨年にも4時間耐久に出たんですが、予選落ち。その後筑波やSUGOのF3レースに出場。今年からは学校も休学してレースに打込んできた甲斐がありました。」

鈴鹿のいつものタイムはRZで2分34秒台、FZで36秒台なんですけど、もちろん耐久です。FZ400Rで出場しました。FZは本当によく走ってくれた。メカやヘルパー、仲間たちのおかげです……」

と喜びを全身に表わして一気に語る2位入賞の前山選手。マシン同様、ライダーのこんな身近さが、F3レースのファンをまたまた増やしていくのです。

# 真夏のエンデュロでも セロー225の走りのよさを100%発揮!



→127台ものマシンが参加して大盛況の『サマーエンデュロ・イン羽鳥』

↓この日の話題を独占した、セロー225の軽快な走り



エンデュロレースでセローの走りを立証したヤマハ同好会チームの面々

“夏は耐久レース”——これはロードレースに限らず、オフロードレースでもすっかり定着の感があります。

去る8月4日、福島県白河市郊外の羽鳥サバイバルランドで開かれたオフロードの4時間耐久レース「サマーエンデュロ・イン羽鳥」も、ノーマルのトレールバイクを駆って気軽に参加できるエンデュロレースとして人気を呼んだもの。特にこの日は、デビュー直後のセロー225が4台も出場して、つめかけた参加者の注目を集めていました。

## 注目の中ラン・ツー独占

東京は小平市でご商売する「モト・ガレッジ」(渡辺和彦社長)さんが主催するこのレースは、2名以上がチームを組んで、1周5.5にも及ぶ

ぶ羽鳥のマウンテンコースを、4時間にわたって走りぬくもの。DT200RやXT225 0Tなど羽鳥の常連を中心に、127台ものマシンが顔をそろえた中で、なんといっても来場者の注目を一身に集めていたのが、発売3日後の4台のセロー225です。じつは、この4台のセロー225のうち、2台のマシンは都内の販売店さんチームが、もう2台は、ヤマハ技術部の同好会チームが、持ち込んだものです。

「セロー225のオールマイティな走りっぷりを自分たちの手で確認したくて出場しました。マウンテンラン的な走りばかりでなく、モトクロス的な走りのポテンシャルでも、セローはなかなかみなならぬものを持っていますからね。ここ羽鳥のエンデュロなどでは、まさにその真価を発揮できるでしょう」とは、スタートを前にしたヤマハ・エンジンヤチームのコメント。

午前9時50分。ル・マン式のスタートで4時間のドラマが開始。スタート直後の登り急勾配では砂のわだちちにハンドルをとられた何台かが転倒。これがコースをふさぐ形となって後続車のほとんどが一時停止。しかも砂とわだちの急勾配とあつては再スタートも困難で、ここで大渋滞が発生——そんなひと幕もありましたが、レースは順調に進行して午後1時50分にチェッカーとなりました。

さて、そんな中でスタート前の言葉どおり圧倒的な走りをみせたのが、ヤマハ同好会チームの2台のセロー225。中村和慶・泉三男組が4時間・34周にわたって終始トップを快走すれば、神村薫・山本文男組も中盤から追いあげて2位でゴール。みごとなワン・ツィフィニッシュで、セロー225の走りの良さを、来場した人びとにつよく印象づけていました。ちなみに、このエンデュロ大会、上位10位中、8台がヤマハトレールによって占められていました。

# '85バイクの夏 総決算



昼休みにもこのにぎわい。ステージ上の平、上野、平塚選手を囲んで、ホットなティーチン



→スクールの後は、さっそうとサーキット走行



愛車で気軽に参加できるとあって、人気を呼んだ真夏のサーキットラン



平、上野両ライダーのアドバイスに熱心に耳をかたむける「ギャルズライテクスクール」参加の女性ライダーのみなさん

# もりだくさんのメニューで夏の一日を満喫 筑波YESSSサマー・モトリング'85

耐久レースがレース志向派のお客さまたちの真夏の祭典なら、ツーリング派の幅広いお客さまたちを対象に開催し、大きな人気を集めたのが8月12日、炎天下の筑波サーキットで開かれた「筑波サマーモトリング'85」です。

## 人気を呼んだギャルズライテクノ

関東のYESSSスタッフを対象に、YESSS東京地方本部が主催したこのサマーモトリングは①筑波サーキット体験走行会、②ギャルズライテクスクール、③SRXクラブサーキットラン、④フェーザライディングスクール、⑤ティーチン、⑥出店コーナー、⑦レースビデオ上映、⑧バイクドック、⑨'85ニュー&輸出モデル展示コーナー……というもりだくさんの内容で、ま夏の1日を、筑波サーキットで存分に遊んでいたのだこうというものです。

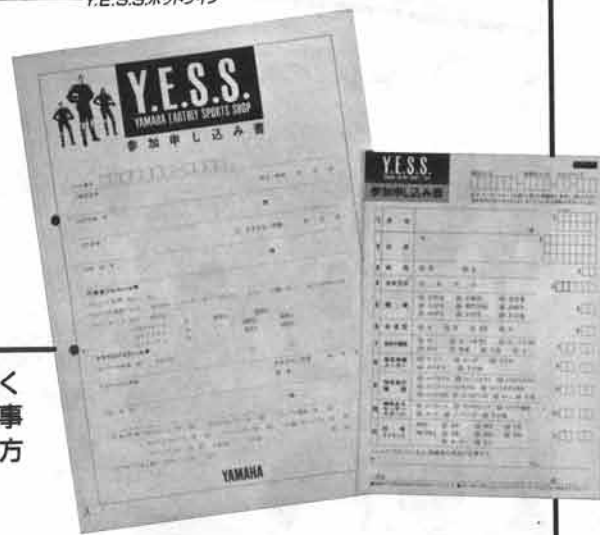
当日は、首都圏の販売店さん率いるクラブ員のみなさんから、遠く長野、福島方面からツーリングを兼ねて参加したグループまで約1200名にのぼるお客さまが詰めかけて大盛況。中でも人気を呼んだのは、女性ライダーのためのサーキット走行会。ギャルズライテクスクールのと銘打ったこの走行会は、平忠彦、上野真一の両ヤマハライダーのアドバイスを受けて、筑波サーキットの体験走行ができるとあって、レザースーツ姿もさっそうと、40名の女性ライダーが参加しました。

また、SRX400/600オーナーによる「SRXクラブ」の体験走行、7月中旬にFZ250フェーザーお買い上げのお客さまを招待してのフェーザライディングスクール。さらにお昼休みのパドックで、平忠彦、上野真一、平塚庄治の各選手を囲んでのティーチンなども好評。こうして、参加したお客さまは、サーキット走行、ヤマハライダーとの交歓、ヤマハユーザー同志の交流と……サマーモトリングの1日を満喫していました。

申込書への記入は、全欄へ正確に!

## ショップ参加申込書 & スタッフ参加申込書

Y. E. S. S. に参加されるお店やお客さまに、まず最初にしていただく手続きのひとつに“参加申込書の作成”があります。これが、その後の事務手続きの基礎データとなるものですが、今回はこの参加申込書の記入方法についてご説明いたしましょう。



### 1. 迅速な事務連絡の第一歩は完璧な申込書の作成です



お店がY. E. S. S. に加盟する際に記入いただく『ショップ参加申込書』は、Y. E. S. S. マニュアル最終ページに添付されていますので、キリトリ線より切り離してご利用ください。

なお、申込書作成にあたっては、必ず全欄洩らさずご記入ください。とくに店名、住所、代表者名については、電算登録の手続き上でフリガナが必要となります。そして、この登録が以後の事務連絡の基礎データとなりますので、ボール

ペンをうい楷書でしっかりと書き込みください。(店名欄へのゴム印のご使用はお控えください)

### 2. 申込書で正確な“お客さまデータ”を作りましょう

お客さまがY. E. S. S. に加盟する際にご記入いただく『スタッフ参加申込書』は、今後のお店のご商売に役立つ“お客さまデータ”に他なりません。したがって、その作成にあたっては必ず全欄にわたってきちんと記入していただくようご指導ください。特に氏名や住所についてはトラブルが多いため、ボールペンをうい楷書でしっかりと正確にお書きいただくとともに、必ずフリガナを所定の位置にふられるよう徹底してください。



### 3. お申込み後は以下のイエスツールが送られます

お店がY. E. S. S. に加盟した際に送られるショップツールは以下の通りです——●サインステッカー、●インフォメーションボード、●運営マニュアル、●モータースポーツマニュアル、●マニュアルカバー、●スタッフ申込書、●スタッフ申込書用バインダー、●ポスター、●チラシ、●北海道ツーリングガイド。

一方、お客さまがY. E. S. S. に加盟した際に送られるスタッフ

ツールは以下の通りです——●スタッフカード、●スタッフワッペン、●スタッフステッカー。

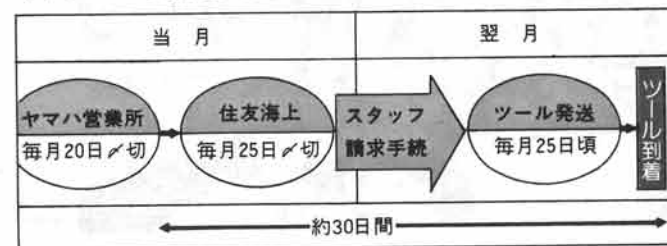
なお、スタッフ向けの販売ツールとして、●スタッフ手帳、●ツーリングノート……も用意しておりますので、スタッフになられたお客さまにはこれらのY. E. S. S. オリジナルグッズのご紹介もよろしくお願いいたします。

### 4. スタッフ登録の手続きには約30日かかります

お客さまにご記入いただいた『スタッフ参加申込書』は即、ヤマハ営業所へお送りください。ヤマハ営業所では毎月20日を受付締切日として、スタッフ登録手続きを行なっています。

お送りいただいた『スタッフ参加申込書』は、その後に電算登録され、Y. E. S. S. スタッフ保険の手続きが行なわれます。そして、スタッフカードをはじめとしたスタッフツールがお客さまの手に送付されます。

これらの登録および発送業務のすべてが完了するまでには、約30日間の日数が必要となります。お客さまがY. E. S. S. に加盟される際には、この間の事情を十分にご説明して、約30日後のスタッフツールの到着をお待ちいただくようご説明ください。



### 5. 住所変更等の調査依頼には迅速に対処してください

スタッフ加盟されたお客さまには、登録後にスタッフツールの発送を行なっておりますが、一部宛先不明や転居先不明の理由で返送されています。お客さまからみれば、年会費を支払いながら何も送られてこない結果となり不信感を抱かせることにもなりかねませんので、これらの調査依頼については早急に対処し、正しい住所をご連絡ください。

なお、返送原因のひとつに、マンション、アパート名および号室等の無記入があります。お客さまが『参加申込書』を作成される際には、必ず記入確認してください。また、転居時には必ずお店へ連絡するとともに、郵便局へ転送依頼をご提出いただくようご指導ください。

# YAMAHA RACING SPIRIT

シリーズ6

## 証言で綴るヤマハ挑戦の記録

# モトクロス黄金時代の到来と 他に先がけての普及活動

'73年、スウェーデンのハカン・アンダーソン選手が、ヤマハに初のモトクロス世界選手権をもたらし、モノクロス・サスペンション、と「モトクロスのヤマハ」は、世界中に知られた



海外にまでおよぶ周到な市場調査によって、'67年のプロタイプYX26は、'68年にはヤマハDT1へと生れ変わり、ヤマハはオフロード部門で初の大ヒット商品を生み出した。

しかもDT1はヤマハの単なるベストセラーモデルでは終らず、ロードレースよりもさらに身近なモーターサイクルであるトライランやモトクロスの普及に絶大な貢献を果たしたのである。

こうした背景をもとに、'69年になるとヤマハはDT1をベースとしたマシンで国内レースに全戦エントリーを決定した。それはDT1への確かな自信を裏打ちするためでもあったが、きたるべき'70年代に向けて、オフロードのヤマハをより強く確立するための布石でもあった。そしてこの年にはセニア部門で鈴木忠男選手が、ジュニア部門で鈴木秀明選手がチャンピオンとなり、'70年に2人は最優

秀選手としてヨーロッパに遠征。鈴木忠男選手は日本人として初の海外モトクロスレース優勝を果たした。

当時をふり返って鈴木秀明選手（YSP東大和経営・36才）はこう語っている。

「とにかく体力は圧倒的に違っていて、ヨーロッパに追いつくには少くとも10年かかると思いました。テクニクを発揮させることよりも、まず体力からだと言感して日本へ帰

## “空飛ぶサス・ペンション”登場

「だめですよ。サスのないマシンなんて。走れるわけがないですよ」

と秀明選手がいうと畑則行研究部長（現・ヤマハ車体工業社長）は「まあ、文句をいわずに乗ってみなさい」とたしなめる。半信半疑だった秀明選手は仕方なくスタートする。

ったのです。マシンにしてもロードレース部門では日本車は良かったが、伝統あるモトクロス部門ではまだまだ立ち遅れていて、CZやハスクバーナなどが幅を効かせていたんです」

モトクロス部門ではこれからの意識は、ライダーはもとより技術陣にもつよくあり、これがきっかけでヤマハはさらにマシン開発に力を入れ始めたのだ。

「ゆっくり走るでしょ、するとゴツゴツとしていてけっして乗り心地は良くないから、こりやダメだ」と思ったのですが、スピードを徐々に上げていってビックリ。マシンが横に振られない。振られないからいつもよりずっとスピードが出せる。スッゴイやコレは、と思わず声を出したほどです」

'73年2月。これがヤマハ黄金時代の立役者となったモノクロスサスペンションのデビューである。

その前年に窒素ガス封入のサフタンクをセットした、YZが開発され、40分もの長丁場でもタレないサスを完成させる。しかしストロークの不足だけはどうしても解消できず、ヤマハは思案に暮れている時だった。鈴木秀明選手の試走が終わり、その印象を告げると畑研究部長の目つきは一変した。

「これならいけそうだと言葉短かに、しかし充分な手応えに表情はえらく明るかったですね。秀明君。使命感を背負って走ってくれ」という言葉が忘れられませ

'73年3月、茨城県谷田部で行なわれた全日本選手権シリーズ第1戦で衝撃のデビューをしたヤマハ・モノクロスサスペンション、250cc鈴木秀明(写真)、125cc鈴木都良夫を筆頭に、ヤマハ両クラス上位4位までを独占して話題を呼んだ。



'69年に単身アメリカに渡った加藤清丸選手はロスを拠点に、ヤマハに乗ってモトクロスやダートレースに活躍



'70年代前半の日本のモトクロスを文字通り席卷したヤマハYZMと秀明①、都良夫②の鈴木兄弟

「限りなくモータースポーツの世界を広げるヤマハ——本格的な普及活動の開始」

ん」と鈴木秀明選手。しかし、ヤマハはこの回答を安易に受け取ることなく、全日本選手権が1ヵ月後に控えているにもかかわらず、テストにテストを重ねてモノクロスサスペンションの本採用決定をぎりぎりまで伸ばしていた。それは、ベストセラーDT1のイメージを下げるような失敗は絶対に許されなかったためであり、もちろん開発スタッフが「社運を賭けて」に優るとも劣らないほどの情熱と慎重さを持って、この画期的な新技術の開発に当たったためでもある。

「結局、ゴーが出たのはレース1週間前。モノサスのフレームさえきちんと出来上がっていなかったのですが、昼夜兼行で作業が始まり、レース当日には全員眠そうな顔をさせながら見事にマシンを完成させてしまいました」

そんな彼らの姿を見ると、何かなんでも勝たなきゃならん」と思いましたね。ピビるところが逆に勇気が湧いてきたほどです」

結果は125ccクラスで弟の鈴木都良夫選手、250ccクラスで秀明選手が1位となり兄弟で両クラス制覇という偉業を成し遂げ、同時にヤマハはモノクロスサスペンションに絶対的な自信を得て、即座にロードレーサーやトライアルマシンにもフィードバックを始めるのだった。

'72年、'73年、'74年の3年間に渡って鈴木兄弟は全日本を席巻し、そして海外でも'73年にスウェーデンのハカン・アンダーソンがモノクロスサスのYZ250を駆って初のモトクロス世界GPタイトルをもたらし、国内外でヤマハの地位を不動のものとしていった。

の普及も怠らなかつた。

それは、'69年からのトレイル教室の開催とヤマハトレイルランドの全国展開という形ですすめられた。当時ヤマハは、企業の社会的責任の一環としてこれをとらえ、他メーカー



に先がけて普及活動を展開したのだ。また、この活動は新人ライダーの発掘と育成の面でもきわめて大きな成果をもたらした。

この70年代から長く現在にいたるまでトップライダーとして日本のモトクロス界をリードしている多くのすぐれた選手が、ヤマハの普及活動から生まれ、ヤマハに乗ってはなばなしい活躍をしていたことは、広く知られるところでもある。

ヤマハの精力的な選手育成活動で、今も語り継がれているのが70年の浅間山麓で行なわれた日本GPでの出来事だ。

「日本中から有能なライダーを集めて1カ月前から特訓に励んだのです。マシンを2段に積めるほどの大型トラックで、40台もの工場レーサーが運ばれてくる。それで朝から晩まで走りっぱなし。選手たちが合宿所に戻る時には、マシンもサーッと引き上げ、翌日はまたさらのマシンがまた40台ずらりと揃っているんですよ。いや、本当に驚きましたね。まさしくマンモスですよ。マンモスの大移動。なんてやるのがデッカイ会社なんだ、と思いました。もちろんこれで「やることはやるから、おまえたち選手は必ず勝つよ」という無言の圧力になりましたね。これも富士登山レースや浅間火山レース時代からの伝統だったのでしょう。想い出になったのは、それから夜のこと。毎晩毎晩、山のようになった肉、肉で体力をつけろといわんばかりにたらふく食べましたね。もう、牛肉を見るのがいやになるくらいでした」

鈴木秀明選手はヤマハのヤル気にえらく感奮したことを、想い入れたっぷりに語った。このレースで活躍したのは、日本の公式レースでは最初で最後の500ccレースで優勝した加藤清丸選手だった。

71年、より幅広く、一般的なモータースポーツ普及活動を展開するために、ヤマハはスポーツレジャーの名を取ったユーザークラブ「SLクラブ」を発足させる。

72年には、第1回ヤマハ・グラント・スポーツ・フェスティバル(YGSF)が富士ス

ピードウェイで開催され、モータースポーツをより身近なものとして世に広めることに成功する。73年のYGSFではモトクロスでアメリカのP・カールスマーカーをはじめロード部門ではケル・キアラザース、トライアルではミック・アンドリュースといった世界の一流ライダーを招き、9万5千人もの観客動員をみせ、大成功に終わっている。

しかし、こうした成功の裏には数多い苦勞と辛酸をなめていたことも事実だった。たとえばトレール教室である。精力的に参加を呼びかけても生徒数がわずかという時代がしばらく続き、確かな手応えを見出すまでは、それなりの年月を要しているのだ。

'68年にDT1を持って単独でアメリカに渡り、本場のダートレースやモトクロスレースで1年2カ月を過ごした加藤清丸氏(現加藤ヤマハ社長・神奈川県大和市・40才)は、帰国後、全日本選手権を追うかたわら、トレール教室のインストラクターとして、鈴木兄弟と全国を駆け回った。加藤氏いわく、「ヤマハはマシンの開発だけでなく、人材の育成についても非常に真剣でした。私自身もヤマハにおいて、マシンのことを勉強したりトレーニ



マルさん。の愛称で、ファンが多かった加藤選手も、現在はヤマハ販売店の社長さん

秀明選手のお店・YSP東大和にはいまも思い出されてY Z Mが展示されている

ングの重要性もだんだんとわかってきたわけですからね。畑研究部長から「レースだけでなく、人生にも勝たなきゃダメだ」ということを教わったものです。とくに、ヤマハのスタッフには良い意味で泥くささがありました。モーターサイクルが好きでたまらない、という感じの人ばかりで、すごく人間味のある会社でした」

レースは単純に勝つためだけでなく、ライダーは人間として優れた人物であるように、という高い理念がヤマハのレーシング・スピリットにはあった。

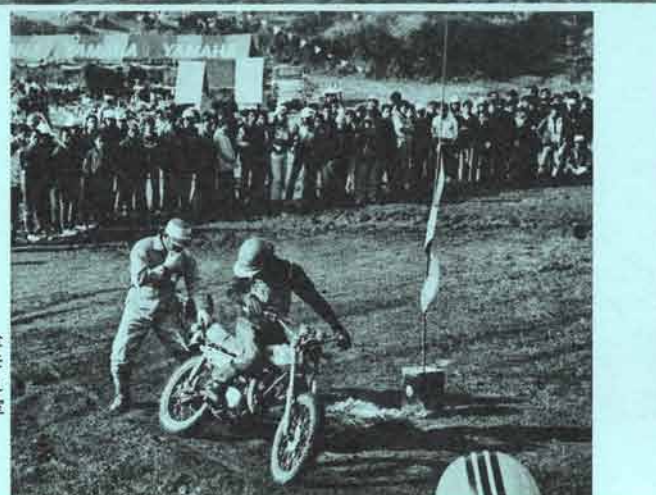
鈴木秀明選手は70年代後半、一時ヤマハから離れるが、再びヤマハに戻ろうと決意し複雑な面持ちでヤマハを訪れるのだった。秀明選手はその時の心境をこう語る。

「私はずっとヤマハで育ち、ヤマハからいろ



'70年、群馬県浅間山麓での第7回モトクロス日本GPで初めて500ccレースを走った加藤清丸選手(マシンの制した360RT1)

'69年から急ピッチで全日本に波及、'70年代のモトクロスブームを支えたヤマハトレール教室



各界専門誌編集長が語る当世若者気質  
**Magazine & Magazine**  
 Part.9

るるる

編集長 青野真也氏



「るるる」

〔発行〕日本交通公社出版事業局  
 〔創刊〕1973年「夏」号より季刊スタート。1年後の10月より隔月刊にペースアップ、さらに1976年4月より月刊となる。毎月18日発売。現在の発行部数は30万部。

〔読者層〕20～24歳代の30%をトップに、25～29歳代23%、40歳以上21%、30～34歳代10%、15～19歳代9%、35～39歳代7%と続く。男女比は26.4%：73.6%と圧倒的に女性が多い。

〔編集方針〕若い女性向けのヴィジュアルな旅行雑誌。〈見る・食べる・遊ぶ〉の旅の3大テーマを充実させ、旅行のみの情報誌から一歩踏み出し、ファッション、ライフスタイルへの積極的な提言を行ない、ヤングのニーズをリードしていく。

〔編集内容〕見る旅、食べる旅、遊ぶ旅に加えて、旅先きでする（作る、乗る、学ぶ…等）楽しみもクローズアップされてきたことから、それらの情報も掲載。

地域特集を柱に、宿泊ガイド、プレイスポット、ドライブコース等を紹介するほか、旅に関するノウハウや最新情報を提供。海外旅行の話題は20%程度。

〔編集長プロフィール〕1965年4月より4年半にわたり日本交通公社の海外旅行部に在籍し海外旅行を企画。その後、出版事業局に移り海外ガイドブック、単行本、PR誌等の編集を手がけ、1982年2月より「るるる」の編集長として活躍。1941年3月5日生まれ。血液型はO型。



「るるる」の「和服・現代人」

報も掲載。地域特集を柱に、宿泊ガイド、プレイスポット、ドライブコース等を紹介するほか、旅に関するノウハウや最新情報を提供。海外旅行の話題は20%程度。

〔編集長プロフィール〕1965年4月より4年半にわたり日本交通公社の海外旅行部に在籍し海外旅行を企画。その後、出版事業局に移り海外ガイドブック、単行本、PR誌等の編集を手がけ、1982年2月より「るるる」の編集長として活躍。1941年3月5日生まれ。血液型はO型。

今回は、日本交通公社という「旅」の仕掛人ともいえる会社から出版されている女性向け旅行雑誌「るるる」の青野編集長にお話をうかがった。女性の時代といわれる今日、彼女達はいったいどんな「旅」を楽しんでいるのだろうか……。

「する旅」が受けこころ

「旅」というとすぐ思いあたるのが京都ブームとか温泉ブームのたぐいですが、ここ10年ぐらいの間に女性の旅でブームになった現象といえますと、どんなものがありますか？  
 「そうですね、ひとつには、ここ数年来の清里や信濃路に代表されるペンションブームで

「ああ、あの山口百恵さんも用地を買ったという清里のペンション？」

「ハッハッ、そうそう。それから、ジワジワ人気が高まっているのが日本旅館や温泉のブーム。それと、これはいまやブームとはいえないかもしれませんが、北海道・沖縄やタイスカパージャパンブーム、海外旅行ブームあたりが話題を賑わしてきたブームといえるでしょうね」  
 「そんな中で、とくに印象的なブームとい

いますと、どんなものがありましたか？  
 「ウーム、もちろんそれぞれに印象深いんですが、とくに印象的だったのはやはり信州ブームでしょうか。信州とペンションが結びついた」

「信州とペンションですか？」

「そう、これは7～8年前になるんですけど、地域特集として信濃路とペンションを結びつけた企画をやったんですが、これが当たったんですね。そのころのドル箱企画である京都特集なんかよりも良く売れまして、私どもも驚いた」

「多分、信州というアルプス的なイメージと、ペンションという真つ白なペンキ塗りのシャレた山小屋がマッチして、ヨーロッパ的なイメージに結びついたのが幸いしたものと思われませんが、この頃から「旅」そのものの形態も徐々に変わっていったんです」

「日本の旅から、ヨーロッパにまで旅へ」

「ええ、それと「日本再発見」の旅から「ドゥ・スポーツ」の旅へ」とも。

「そもそも、旅というのは個人がどんな喜びを創れるか？ みたいなところで成立していったんです。たとえば、信州の一人旅で何をしようか？ みたいなネ。それが信州ブームでは自然と対峙する中でヘルシーなイメージと結びつき、スポーツを楽しむ方向へと発展していったんです」

「当然その裏には女性の参加意識が変わってきたからという側面もあるわけですね」

女性が参加するキッカケの中には必ず「ファッション性がある」といふ



「それはいえません。旅の目的、仕方が実に多様化していることですね。旅の3要素といえは「見る・食べる・遊ぶ」だったんですけど、今はそれに「する」という言葉が加わってきた。見る旅から「する旅」へ——旅先で遊ぶ、乗る、作る、学ぶ……といった行為が重要な要素としてクローズアップされてきたんですね。ちなみに、うちの「るるる」という誌名は、「見る・食べる・遊ぶ」の語尾をとって並べたものなんですよ」

ケーキから和菓子の時代へ

——ところで、アン・ノン雑誌やデイスカバ  
ー・ジャパンで啓発された女性連の間で人気  
を集めているペンションの魅力という？  
「当初ペンションを作ったのは、都会に飽き  
た脱サラリーマンの人たちだったんですね。  
どちらかといえば、山や自然が好きな仲間が  
集まる気のおけないスペースというかんじ。  
でも、いざフタを開けるや若い女性の人気を  
独占しちゃった。その理由は、小きれいで洋  
風でロマンチックで、しかも安いというこ  
ろではないでしょうか」  
——山好きが集まるかと思っていいたらアン・  
ノン族が泊まりに来ちゃった……。(笑)  
「ウン、ブームというのは、考えてみると最  
低でも2つぐらいの要素が絡んでいる。信州



見直される女風呂

——男性と女性との旅におけ  
る決定的な違いっていうと？  
「強いてあげるなら、『泊まる』  
とに対する価値感でしょうか。  
男性の場合は、どちらかとい  
うと無頓着で時刻表の巻末にあるその  
の地域のホテルや旅館のリストを見  
ながら、上から順に電話をかけて予約するとい  
ったところがまだありますよね。その土地に着  
いたらそれこそ適当に泊る所を選んでいま  
すね。でも、女性になると違う。〇〇へ行つたら  
海辺の白いホテルに泊って、甘海老のおいし  
い□△屋で夕食をとる。なんて計画が、最初  
からできあがっているわけですから」  
——それには相当の情報が影響を与えている  
わけですね。「るぶ」も含めた旅行雑誌等の  
から情報が与えられている。そして彼女たち



の自然とペンション、その中には自然ブー  
ムあれば、ペンションブームもあり、さらに  
ペンションには付き物のテニスブームものっ  
かってくる、というようにネ。  
そして、女性に参加するキッカケというの  
は、そうした要素の中に必ずファッショニ  
ックがあるということですね」  
——人気上昇中の温泉ブームでいいですか？  
「温泉というイメージの中にはのんびりくつ  
ろげるといふほかに、森林浴、温泉浴とい  
ったヘルシー感覚もある。それになんとい  
っても広い座敷でお姫様気分であられたり、仲間  
と一緒に入って楽しむ露天風呂の要素も絡ん  
でいる。  
田中康夫さん（小説家。クリスタル・ブー  
ムの生みの親）の話ではありませんが、少し  
前まで、どこそこのケーキがおいしい！と  
話してたのが、いま和菓子が一番ナウイ、  
というように、温泉ブームの裏にもそうした  
ファッショニック性がちゃんとくっついているわ  
けです」



——遊びが上手になってきた。行くまでは節  
約しても、宿泊は豪華にするとか、ね。  
それとドライブ旅行が主流となって地図の  
重要性が見直されてきた。以前はカット代わ  
りのイラストマップで済んでいたのが、もっ  
と詳しいマップを載せて、とか、駐車場も  
入れて、という声が多くて実用的なマップ  
を使うようになった。それだけ、旅が彼女た  
ちにとって日常化してきたということでは  
うか」  
——そういう素晴らしい女性が増えたとい  
うことで、受け入れ側の反応もかなりあったの  
では？  
「先ほどの温泉ブームではありませんが、最  
も顕著な例が女風呂がよくなったこと。温泉  
旅館の女風呂という今までは男風呂に比べ  
て貧弱だったのが、男風呂と変らなくなった」  
——これは凄い！（笑）  
「それとペンションでいいますと、特長のある  
ペンションが増えてきたこと。料理のプロ  
を置いて抜群に美味しい料理を食べさせると  
か、マリンスポーツのオーソリティーがいると  
か、レンタルバイクを備えたペンションとか  
つまりハッキリしたポリシーをもって、しつ  
かりしたセールスポイントを備えたペンシ  
ョンに人気が集まってきたといえますね」  
——女性も旅でも強さを見せ始めてきた。  
「ええ。でも、もうひとつの側面としては、  
温泉ブームとはいえども秘湯の旅まではな  
かなかしない。ある程度の軽さがあった、自由  
に動ける旅が、女性にとっては最も人気  
があるといえそうです」

情報スクランブル

●お忙しい販売店さんのための情報アンテナ

BOOKS

●住み馴れた都会から一歩だけ外へ  
『冒険王』

北米大陸1万4千kmのバイク行から奥飛弾の雪山トレール、海外耐久レース参戦記など著者自身のバイク体験談をはじめ、アウトドアライフに精通した各界の著名人との対談、バイクを通じた世相の風刺などをユニークな観点で表現した1冊。

ちょっと粗野な感じさえ受ける自由奔放な文章の中に、一貫してあるのは自然への思いやりと旅とバイクへの愛着です。  
戸井十月著 講談社/¥880



●思わず旅立ってみたくなる本  
『ぼくとバイクの二人ごと』  
日本一周ツーリング

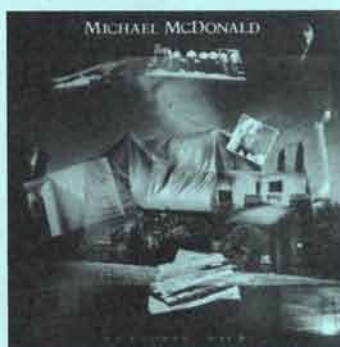


バイクや自動車のイラストレーションでお馴染みの摺本好作氏が綴った、日本一周のツーリング紀行です。克明に描かれたスケッチと、日記風の軽い文章の中には訪れた土地の生活感がたっぷり。バイク歴25年という著者ならではの、旅情いっぱいの一冊です。  
摺本好作著 グランプリ出版/¥1200

DISK

●夏から秋にかけてのとっておき  
『NO LOOKIN' BACK』

元ドゥービー・ブラザーズで活躍していたマイケル・マクドナルドの最新LP版。曲はまさにこの季節にピッタリの透明感あふれるさわやかな仕上がりです。汗を感じさせない軽快なサウンドで、まずはBGMから秋への模様替えを図りましょう。  
ワーナーブラザーズ(USA)/¥1980



WAVE-BESTS

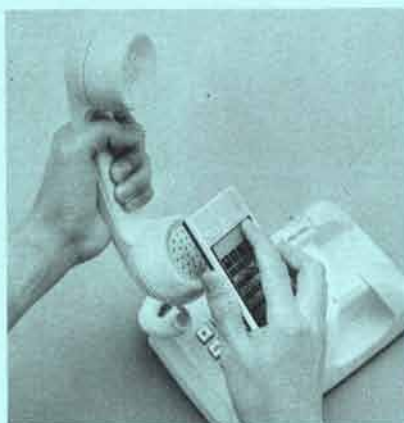
バイクの流行は判るけど音楽の流行まではチョットね、こんな販売店さんのために日本で一番早くて確かな洋楽LPのヒット情報をお届けしています。情報源はお馴染みの東京六本木「ウェーブ」です。BGMのご参考にどうぞ。

1位	ザドリムス・シングル・タートルズ	ミニジション
2位	リノックス・ロム・ザ・ビーンズ・ザ・ボーイ	ステイキング
3位	ノージャケット・リリアン・アワード	ファイアーズ・フォー・ファイアーズ
4位	アラバマ・ド・ザ・ワイルド・マン・ソング・ブレイ	フライング・ドッグ・ソング・ブレイ
5位	レックス	ブライアン・アダムス

TOOL

●番号押さずに電話ができる  
『オートダイヤラー』  
『呼び出しくんパートII』

忙しい販売店さんにこれは便利です。電話番号を押さずに話したい相手をワンタッチで呼び出せます。登録できる相手先は92人分、名前と電話番号を入力すれば、あとはサーチキーで呼び出すだけです。プッシュ式の電話器ならどんなものでも使用でき、大きさもカードサイズなので持ち歩きにも便利です。  
お問合せ・セーラー万年筆(株)03(836)7130/¥12800



●ライダーにとっては本場にうれしい  
『ホットタオルミニニュー』

手軽に温かいオシボリが作れます。しかも小型で可愛くデザインされていて、ショールームやコミュニティスペースに置いておいてもピッタリとマッチします。コヒーと温かいオシボリはお客さまにとって最高のもてなしです。



EVENT

お問合せ・松下電器産業(株)06(471)0931/¥5000



●迫力満点!  
『インターナショナル・スーパー・スタジアム・トライアル』

フジTV・国際スポーツフェア事務局と東京モータースポーツ協会が主催する超豪華版のスタジアムトライアルです。  
世界からは昨年度世界選手権6位までのトップトライアラーが、そして国内からは全日本選手権第7戦北海道大会までのトータルポイント14位までの選手が、それぞれ妙技を競い合います。

開催日/9月22日、23日開催場所/国立代々木競技場・第一体育館

●グランドは大自然  
『白馬2日間トライアル大会』

老若男女を問わず、誰でも参加OKの大自然の中のトライアル大会です。コースは北アルプスの麓、白馬村の一般公道を使った特設コース。200kmの道のりをツーリング気分で行きましょう。

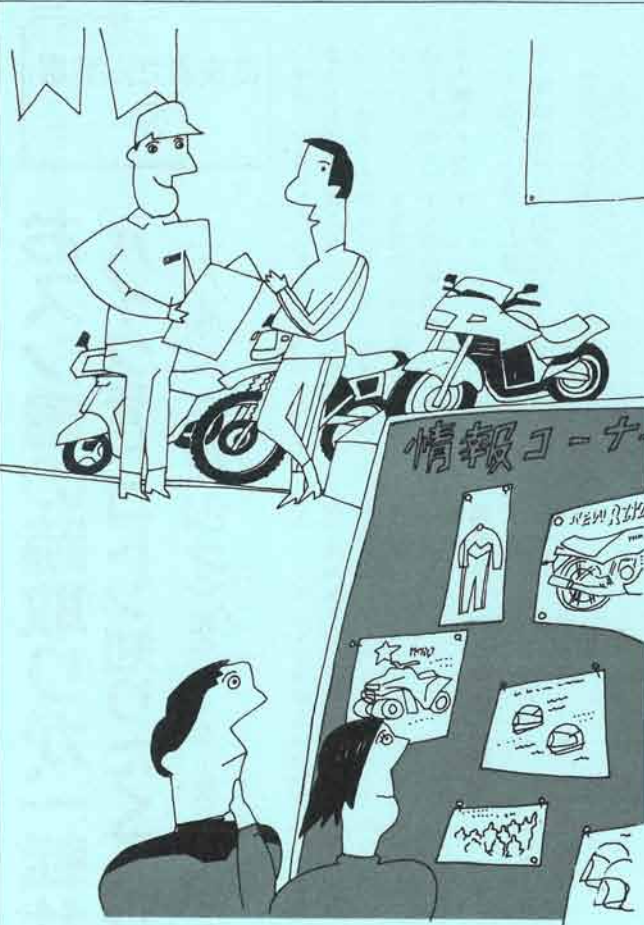
開催日/10月19日、20日 開催場所/長野県北安曇郡白馬村 お問合せ/南モトショップ・ハマ02663(32)5231/参加料¥20000(宿泊費込み)

♡イスの無いショールーム

コーヒーを出したりコミュニケーションベースを作ったりして、お客さまの足止め策を熱心に展開している販売店さんが多い中でそれはまったく逆方向のお店づくりを展開し、販売効率を上げているのが大阪のY店さん。

とは言っても、店内を見渡せば、ちゃんとビデオもありテーブルもあります。一見すればどこにでもある普通のショールームと同じですが、良く見るとお客さまにくつろいでもらうためのイスがまったく見あたりません。この理由をH社長は――

「これは、オートバイ販売をカウンターセールスとして割り切った結果なんです。ハンパーガーショップなどで見られるような接客に対するロスタイムの減少を図ろうと思ったんです。イスは確かにライダーの立場に立てば必要なものかも知れませんが、イスがあることによりショールームを喫茶店がわりに使うお客さまがいることも確かです。」

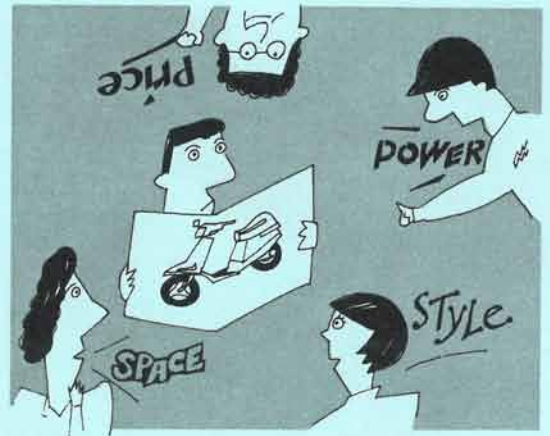


♡「お客さまにとって価値ある情報」とは?

前号でも「情報」は集客のための大切な要素という話題をご紹介しましたが、今回もこの例をひとつ。7月末に行なわれた鈴鹿8時間耐久レース会場でのことです。

ある二輪専門誌が行なっていたのですが、すぐ隣のサーキットで行なわれていたレースの模様を、1時間ごとに、レースニュースとして1部100円で販売。長い時間をかけて競われるレースだけに進行が把握しづらいというものの、目の前のサーキットでやって

これをやることによって、購入意識のあるお客さまを見分けやすくなったこと、いわゆる常連さんが溜り場として店を使わなくなったので、新規客が増えたように思います。新しい試みだけに、結果がどう出るかはこれからの話。でも、省力化や合理化が販売のポイントとなっている昨今だけに、これらもこういったお店は増えるかも知れませんね。



いるレースの結果が飛ぶように売れていくのですからオドロキです。

「他人よりも早く正確な情報を手手したい」というのは、レースファンだけの心情ではありません。このようなレースリザルト以外にも、マシンやパーツ、さらにウェアやイベントなど、身近なところにもお客さまにとって価値ある情報はいくらかもあるはず。お店独自の情報コーナーとして、一度ショールームの片隅にでも掲示してみてもいかがですか?

♡ヘルメットに血液型

RH(+)O、富士スピードウェイで開かれたサマーフェスティバル会場に来ていた、あるツーリングライダーのヘルメットに書かれていた文字です。

「本人にその理由をうかがってみると――事故に遭って意識がなくなった時に、少しでも役に立てばと思って書きました。全部横文字なので見た目も悪くないし、安心もできるので友達にも教えていますよ」

と電話番号なんかを書けば、もっと役に立ちそうですネ。

♡走行体験でライダー予備軍を増やす

九州・福岡市の郊外に土地を借りてオフロードコースを作り、4年前からこのコースを使ってオフロード車の販売を続けているK店さんは最近お店の中古車を貸し出して誰れにでも自由にコースを走らせています。オンロードユーザーにもオフロードの楽しさを理解してもらおう、という動機で始めたものです。

ところが結果はちよつと予想外。自転車との併売店でもあるK店さんには免許取得年令に達したばかりの高校生も良く来店しますが、このコースを走らせてほしいとの要望は彼らももつとも多かったです。

もちろんキックと安全指導をした上で体験走行となるわけですが、一度走るとヤミツキになる高校生も多いとかで、有力見込客の発掘にも直結しているようです。

♡すすむ自分に合わせた物選び

北海道のA店さん、東北のB店さん、東京のS店さんなど、5店の販売店さんで最近のユーザーのスクーター選びについてうかがってみました。その結果、ほとんどの販売店主さんが感じられたのが、選択基準が広がった、ということ。

以前は「価格」が圧倒的な要因となっていて、その少し前は「パワー」、そして現在は何というかと、とても口では答えきれないくらいに、色々な面を気にしている」といいます。スタイルや価格そしてパワーから収納スペースなどの使い勝手まで、自分の使用条件に合わせて、最適なものを選んでいくといえます。となるとセールストークも、画一的なものでは効果薄。お客さまそれぞれに合わせたものが求められてくるわけですが、みなさまのお店では、いかがですか……?」

## 従業員さん登場

⑨

# おスシ屋の跡取りが、一転サービスマンに！ バイクをトコトコ知りたくて、レースも始めました

## 土方康夫さん(24才) 和田モーターズ/サービス担当(神奈川県平塚市)

今回ご登場いただいたのは根っからのバイクフリーク従業員さん。バイクが好きで走ることが好き、だからいつでもバイクと一緒にいたい……こんな気持から販売店さんに飛び込んだ、若くてヤル気一杯のサービスマン、土方康夫さんです。

### この道に入ることは、 中学時代に決めていた

和田モーターズさんのある神奈川県・平塚市の隣町・茅ヶ崎市のおすし屋さんの長男として生まれ、誰もが、当然家業を継ぐものと思っていた土方さんが、バイク販売の世界へ……まずはその経緯から伺ってみました。「順当に行けば家業の跡取りということだったんですが、近所にあったバイク屋さんの影響か、中学に入る頃から突然バイクに興味を持ちだしたんですね。両親にはその頃から、将来はバイク屋さんになる、なんていっても言っていたので、この世界に入るときも家族はそんなにビックリもしませんでした。

でも、本当のところは、高校に入る頃にはバイク熱も冷めて、4輪に興味を持ちはじめていました。4輪に乗りたくてウズウズしていたんですが、免許が18才になるまで取れないので、その間のツナギみたいな気持で2輪免許を取り、ヤマハのGR50を買ったんです。そしたらその走りが面白くて、それ以後RD250、RD350、RD400と乗り継ぎ、暇さえあれば毎日でも走りに出かけるくらいに夢中になっていました。気がついたら4輪への興味などすっかり消えてた(笑)。

そして高校を卒業する頃には中学時代の夢が再び甦えり、「この道で行こう」と決めていたんです。卒業の時に良いお店が見つからな

くて、しばらくは会社員をやっていたんですが、僕の友人で、この和田モーターズ(和田秀雄社長)のお客さんでもある人から、ここで働かないかって言われて、迷わず決断したんです。

### 時間を忘れて修理に熱中!

まさに意気揚々と自分の好きな道に飛び込んだ土方さん。しかしそれを「生業」とするためには、それなりの苦労も多いようです。「一番困ったのは、サービスマンで入ったにもかかわらず修理ができなかった、ということですね。走ることはばかりが先行していて、サービスマン技術に関してはまったくの素人だったわけですから。お客さんが修理車を持込まれて解らない時にはカモフラージュのためにそのバイクを預かったりしてね。とても恥かしかつた。でも社長や社長の息子の智さん、それにメーカーの人などに教わりながら、今ではマニュアルを見たりしながらですが、どうか一通りの修理はできるようにになりました。多少でもメカが解るようになると、当然仕事も面白くなってくるんですね。そうすると「どうせやるなら修理を頼まれた部分は新車並に戻してやろう」なんて欲が出てきて、ついつい時間を忘れて修理に熱中してしまうんです。修理が終わったあとも「ちゃんとしてたかな」なんて気になってしょうがなく、もう一度バラしたなんてこともあります(笑)。

今では、以前とは違った意味でバイクが好きになり、バイクのことなら何んでも知りたくて最近ロードレースも始めました。うちの社長は以前浅間レースに出たこともある程のレース好きなので、レースには理解があるんです。だから結構自由にレースをやらせても

最近購入したばかりの自慢の愛車・FZ250フェーザー。「仕事の後にこれで走る時間が、今一番楽しい」と土方さん



らっています。メカの勉強にもなるし、仲間から色々な情報も吸収できるのでとても役に立っています。

★ 将来の夢は、特別なPRをしなくても技術力と情報量で自然にお客さまが集まって来る

### 社長さんからひと言



和田秀雄社長

私自身、若い人たちは、俺が俺がと出ていくんじゃないかと、一緒に話そう」という気持で接しています。若い感性から教わることも多いですからね。そんな中で土方くんは仕事に対して積極的だし、こちらの言うことも良く理解してくれる。独立」の応援もしっかりやりたいと思っています。

ような自分の店をつくること」と明るく話してくれた土方さん。この夢を果すため、着実に、そして意欲的にお仕事に取り組んでいます。



## 「ボクもパパもA級めざして」 合歡の郷で親子で学ぶトライアルスクール開催

↑加藤選手の名コーチで、この日初めてバイクに乗ったチビッツたちも、第1日目終了の頃には丸太越えができるほどに

↓練習後は両選手が模範走行を披露、華麗な妙技に大きな拍手が



←お父さんたちを教えた伊藤選手も「みなさん熱心だし、お上手なので驚きました……」



数かずのマリンスポーツやゴルフ、テニス、アーチェリーなど豊富なスポーツ施設を備えて、ヤングからファミリーまで幅広い人気を集めている三重県のアマハリゾート「合歡の郷」は、モータースポーツの普及にもとくに力を入れています。

そんな「合歡の郷」の協力を得て、夏休みの8月9日、10日の両日にはY.E.S.S.スタッフによる、父と子のトライアルスクールが開かれました。指導に当たったのは加藤文博選手と伊藤敦志選手の2人のヤマハリダー。

お父さんには伊藤選手が、チビッツには加藤選手がコーチに当り、第1日目はトライアル競技に関する規則やマシンの説明と芝生に置かれた人工セクションを使って基本走行の学習。2日目は前日の復習の後に、広大な「合歡の郷」に作られた林間ツーリングコースを実走行。意欲的な学習姿勢が功を奏してか父子ともども全員無事に難セクションをクリアして、全カリキュラムを終了しました。

チビッツの指導に当たった加藤選手は、「子供たちの吸収の早さにはビックリしました。TY80のエンジンも掛けられなかったような子供が、2日目には結構むずかしい場所を走れるようになりましたからね。でも走行技術よりも、トライアルを通して運転マナーを身につけてもらったり、父と子が同じスポーツを楽しみながらその絆を深める、っていう部分がとても重要だと感じました。すばらしい企画だと思いますよ」と語っていました。

## ノントラブル、X S2500 エンジン手つけずで10万キロ!



10万キロをノントラブルで走ったX S2500に跨がる市丸さん(左)。隣が代替えしたX S2500Eと整備の面倒を見たY S P府中の青島社長ご夫妻

東京都府中市に住む市丸博さん(会社員・45才)は、「家から出るということはイコール二輪車に乗ること」と言うくらいに、通勤やチョイ乗りからレジャーに至るまで、どこへ行くにもバイクと一緒に根っからのバイク好き。その市丸さんの愛車「ヤマハX S2500」がノントラブルで10万キロを走り抜き、周囲の話題を集めています。

「二輪車は大好きなんです、メンテナンスの事は全然わからないんです。ですから、販売さんから言われる通りに毎回キチッと点検してただけで、特別なことは何もやっていません。コワれないな?なんて思っているうちに10万キロも走っちゃいました」と、二本人はしごく当然のように語っていますが、販売店のY S P府中・青島仁社長は「乗り方が丁寧なのと、3000キロ毎の定期点検を欠かさなかったのが良かったんでしょうね。ちよつと信じてもらえないかも知れませんが、エンジンやクラッチは一度もバラしていませんですよ。」

10万キロを走ったX S2500の劣をねぎらつて、市丸さんは、7月末にX S2500Eへと代替。今度は15万キロに挑戦ノと気分も新たに、毎日X S2500Eを走らせています。

## キュートCFの新しいテーマソング 「ふだんがキラキラ」好評発売中!

ヤマハ・キュートの新しいテレビCF、もうごらんになりましたか。ここに流れている新しいテーマソング「ふだんがキラキラ」が、随ヤマハ音楽振興会の制作によりキャニオンレコードから発売されています。

アメリカの人気シンガー、ジム・フォトグロが歌うこの曲は、女性キーボードトリオ・コスモスで活躍していた土居慶子さんの作曲によるもの。しかも、彼女にとつては記念すべきソロ第一作なのです。

7月26日には、そんな土居さんの誕生日を兼ねた発表パーティも開かれ、そこで、この新曲「ふだんがキラキラ」が、集まった多勢の関係者の話題を集めていました。



発表パーティで新曲を披露する土居慶子さん

## アフリカ大陸でマサイ族が駆る DT125を発見!



この珍しい写真は、世界中の人びととその暮らしを撮り続けているカメラマン広瀬公章氏から寄せられたもの。アフリカ・ケニアのマサイ族の撮影の際に、偶然出会った光景だそうです。足が唯一の交通手段という部落でなんとヤマハのDT125が活躍していたのです。これには、ご自身もヤマハに乗る広瀬氏もビックリ。「持ち主はあいにく狩りに出てしまいがちで撮影できなかったけど、広大なケニアの草原をそれこそ縦横無尽に走りまわっているそうですよ」と語っていました。



## V-MAX '85モーターサイクル・オブ・ザ・イヤー受賞!

アメリカ向けモデルV-MAXが、アメリカで最も人気の高い二輪専門誌『モーターサイクル・オブ・ザ・イヤー』誌主催の人気コンテストで、最も最高のモーターサイクル・オブ・ザ・イヤーに選ばれました。  
「今春0-400m、10・33秒の世界最高記録を叩き出したそのパフォーマンスと、ストリートバイクとしての安定した高性能が、きわめて高レベルで融合している」というのが、受賞の理由。  
昨年のFJ1100にひきつづいての栄誉。ヤマハは2年連続してアメリカ・ナンバー1に輝いたのです。



↑ご自慢の愛車を、さらに磨きあげて……

→全米各地からヤマハラライダーがつめかけた

## 2,000人がつめかけた アメリカ版サマーフェスティバル "ヤマハ・ファミリー・アフェア開催!



Y M U S (ヤマハ・モーターUSA)では例年、ヤマハのツーリングバイクユーザーを対象に「ヤマハ・ファミリー・アフェア」を開催して、ユーザーと販売店さん、ヤマハとの親睦を深めています。今年で6年目を迎えたこの催しが、6月14日から16日までテネシ州のシルバードラシティで盛大に開かれました。  
全米各地のヤマハ販売店さんが参加者を募り、Y M U S アトラクタ社が中心となって開催した今年の大会には、ケンタッキー、ペンシルバニア、フロリダをはじめとして、速くカナダなどからも熱心なヤマハファン、約2000名がつめかけ、トライモトやモトフォアの試乗会、ミニツーリングを兼ねた、ポーカーラン、などを楽しみながら、ヤマハファン同志の交流を深めています。

スズカの興奮、銀座に再現！  
FZR750 資生堂本社で展示



先の鈴鹿8時間耐久レースにおけるヤマハ・テック21チーム、ケニール／平組の活躍は本誌4ページにご紹介のとおりですが、レースから1週間後の8月上旬東京・銀座の資生堂本社前には、話題のマシンFZR750とレース速報が展示され、道行く人びとの人気を呼んでいました。

とくに、原色がほとんどのレーシングマシンの中でも、ひととき新鮮やかなFZR750のライトブルーのカウルと、見るからにハイパフォーマンスを感じさせるメカニズム各部に話題が集まっていたが、場所柄が、ヤングのグループや若いカップルから夏休みの家族づれ、昼休みのOLやサラリーマンと、幅広い人たちの人垣が連日のようにつづいていました。

## ●'85AMAナショナル500CCモトクロス B・グロバー／YZ490 3度目の全米ナンバー1!

AMAナショナル500CCモトクロスシリーズは、7月28日のビンガムトン(ニューヨーク)大会で8戦

を終了した。  
この大会でヤマハYZ490を駆るポイントリーダー、B・グロバー

が両ヒート制覇の完全優勝を達成したため、残る2戦を待たずにグロバーとYZ490のチャンピオン



## JAL・バイクビレッジ・イン・北海道

東京を起点に、ライダーとバイクと一緒に空を飛んで、紅葉の北海道でツーリングとバイクビレッジを楽しもうという『ビッグ・バム JAL・バイクビレッジ・イン・北海道』の開催が9月19日に迫ってきました。

この催しは、日本航空が開発したライダーとバイクの同時輸送システム・ジェットツーリングシステムと

北海道ヤマハ主催のバイクビレッジがタイアップした、この秋話題のビックイベントです。どうぞ、お客さまをお誘いあわせてご参加ください。

※お申込み、お問い合わせは☎03(284)2911日航ジェットプラン・リンリンダイヤルへ。

※募集人員は先着100名です。

が決定した。  
グロバーは、今シーズン第1戦のフロリダ州ゲインズビル大会から快調で、8戦・16ヒートのすべてを優勝と2位でカバー。両ヒート1位の完全優勝も、4大会にのぼるといって圧倒的なつよさを発揮した。グロバーにとっては、81年・83年につぐ、3度目のシリーズチャンピオンだ。またグロバーは、YZ250を

駆って出場しているスーパークロスシリーズでも、快調にシリーズをリードしていたが、8月18日に行なわれた最終戦で5位、4位に終わり、トータル227点、わずかにポイントの差で2位に終わり、AMA2大タイトル制覇は、残念ながら成らなかった。

日本にもなじみのB・グローバー



## ●世界選手権ロードレース シリーズ・500ccクラス ロソン2位、 サロン3位、確定

チャンピオン、E・ロソンのV2成らず。'85世界選手権ロードレースシリーズは8月11日、アンダーストープサーキットで行なわれたスウェーデンGPで11戦を終了した。

このレースで、ランキング首位を行くF・スペンサーが優勝、これを追うロソンが2位となったため、最終戦サン・マリノGPを待たずにロソンのランキング2位が決定した。また、このGPで4位に入ったフランスのC・サロンも、YZR500で初の500ccフル出場ながらも1位とランキング3位を確保。ヤマハ・マルボロチームのR・ロッシュは、第9戦地元フランスGPでの2位入賞などもあって、ランキング8位に喰い込んでいる。

## ●全日本選手権 トライアルシリーズ 伊藤敦志ニューマシンで ベストクリーン!

全日本選手権トライアルシリーズ第7戦北海道大会は、昨年にひき続



## 9月のレーシング カレンダー

- ▲9月1日 ●ロードレースGP② サン・マリノ※
- 全日本モトクロス⑧ 東北
- ▲9月8日 ●全日本ロード① 日本GP 鈴鹿※
- ▲9月15日 ■全日本モトクロス⑨ 関西
- ▲9月29日 ○四輪F2⑦ 鈴鹿

きた張市のマウントレースイ国際スキー場で行なわれた。

国際A級は、変化に富んだ15セクションを、5時間30分で3ラップするもの。

この大会からニューTY250Rを駆って出場、会場の話題を一手に集めた伊藤敦志と加藤文博のヤマハコンビでは、伊藤敦志(写真)が順位こそ2位に終わったものの、クリーン33をマークしてベストクリーン賞を獲得。

ランキングでも首位の山本昌也に6ポイントと迫まり、残る2大会での2人の対決がたいへん注目されている。

## ●250cc級世界選手権 モトクロスシリーズ 「ジャンク」惜しくも2位

250cc級世界選手権モトクロスシリーズは、8月11日の西ドイツGPで11戦にわたる全日程を終了した。第8戦・スペインGP終了まで2位に35点の大差をつけてランキングをリードしていたYZ250のJ・ビモンドは、第9戦・アメリカカGP第2ヒートでのB・ハナとのクラッシュがたり、このレース無得点。つづくオランダ、ソビエト、西ドイツと終盤3GPで健闘したものの、結局KTMのH・キニガドナーの逆転を許し、わずかに2ポイント差でランキング2位に終わってしまった。

## SALES



『FZ250フェーザー・ドレスアップコンテスト』実施中!

いまヤマハでは、皆さまのお店におけるFZ250フェーザー・拡販のサポート策としてFZ250フェーザー・カラーリングコンテストを実施しています。

『FZ250フェーザー・ドレスアップコンテスト』と銘打ったこの企画は、9月1日発売の月刊『オートバイ』誌(10月号)で募集。カラーリングコンテストという誰でも参加できる企画でFZ250フェーザーの認知度アップをはかり、あわせて広い顧客層を巻き込んだ話題作りを狙ったものです。

秋のスポーツバイク商戦もいよいよスタート。皆さまのお店でもより多くのお客さまに『FZ250フェーザー・ドレスアップコンテスト』をお知らせするとともに、FZ250

フェーザーによる店頭試乗会の開催をおはかりください。

『FZ250フェーザー・ドレスアップコンテスト』

●内容  
FZ250フェーザーの自由なカラーリングを雑誌にて募集し、審査の上、賞典を用意。告知は、9月1日発売の月刊『オートバイ』(10月号)誌のハサミ込み頁。

●期間  
85年9月1日～9月30日の1ヵ月間

●審査  
85年10月上旬。審査委員/新谷かおる(漫)

画家、由良拓也(レーシングカーデザイナー)、梶田卓(『オートバイ』誌編集長)

●賞典  
FZ250フェーザー賞(応募作品と同仕様のカラーリングを施したFZ250フェーザーをプレゼント)の他多数賞典を用意。

●発表  
85年11月1日/優秀作品該当者氏名の発表(『オートバイ』誌12月号にて)  
85年12月1日/最優秀作品と同仕様のカラーリングを施したFZ250フェーザーの発表

※詳しくは、担当セールスマンにお問合わせください。

## SERVICE

### お済みですか?

●お店のサービス体制は万全でしょうか?  
従業員さんのサービス力は十分に発揮されていますか?

●東京、磐田、神戸のヤマハ研修センターで開催しているヤマハ技術講習会では、7つのコースを開講してサービス技術を指導。皆さまのお店にサービス力の充実をバックアップさせていたしております。

●以下にご紹介するのは、10月と11月の開催スケジュールです。ぜひ、この機会にお店のサービススタッフもご参加いただき、技術力の向上をお図りください。

### ヤマハ技術講習会スケジュール

- 研修センター東京
- 10/1(火)～3(木) 4～DOHC
  - 10/7(月)～9(水) 2～2気筒
  - 10/16(水)～18(金) 4～DOHC
  - 10/23(水)～25(金) 2～2気筒
  - 11/6(水)～8(金) 4～DOHC
  - 11/12(火)～14(木) 2～2気筒
  - 11/19(火)～21(木) 2～単気筒

### サービススタッフの技術力アップ

#### ■ヤマハ研修会館(磐田)

- 10/2(水)～4(金) 4～DOHC
  - 10/8(火)～9(水) 2～単気筒
  - 11/7(水)～8(金) 2～単気筒
  - 11/13(水)～15(金) 2～2気筒
- 研修センター神戸
- 11/6(水)～8(金) 2～単気筒
  - 11/13(水)～15(金) 2～2気筒
  - 11/21(水)～23(金) 2～単気筒

#### ●座学と実習でみっちり勉強

このヤマハ技術講習会の内容について、簡単に説明しましょう。

●現在、講習会では①2～単気筒(2日間)、②同(3日間)、③2～2気筒(3日間)、④4～DOHC(3日間)、⑤電装(3日間)、⑥女性(3日間)、⑦新人サービスマン(5日間)の7コースが開講されています。

●会場は、東京、磐田、神戸のヤマハ研修センター。それぞれの担当エリア内の受講生を集めて講習が行なわれています。ただし、ヤマハ研修会館での電装、女性、新人サービス



↑FZ400Rを使用している4～DOHCコースの実習風景

●完成しました!

『ゼロ・ツー』サービスマニュアル

●商品名/セロー1225(1KH128197100)

●注文ナンバー/3210995

●標準小売価格/2,600円



↑初日の座学はやや緊張気味にスタート





世界のトップライダーを迎えて、秋のSUGOの2大レース開催!

85鈴鹿8時間耐久レースのPRビデオが完成しました。



マンの各コースについては全国より参加者を募集していますので、こぞご参加ください。そして、2日ないし3日間にわたる講習では、「サービスマン」として必要な「基本業務」や「基礎理論」の座学をはじめ、実車を使用した「基礎テクニク」や「応用テクニク」などの実習が行われます。

優秀サービスマンが続々誕生

今月も2つのヤマハ技術講習会の卒業生をご紹介します。

⑦/16、18の2～2気筒コース(東京)  
後列左よりYSP黒田・服部隆社員、オートセンターイリヤ・辻子綱一社員、南サイ

『85鈴鹿8H耐久ビデオ』&『店頭告知ポスター』を、活用ください

皆さまのお店にもぜひ1本お揃えいただき、24万人の大観衆の目を釘づけにしたヤマハ・テック21チームの大活躍ぶりを、多くのお客様にアピールしてください。

●タイトル

85ワールドエンデュランスチャンピオンシップレース・イン・ジャパン(8時間耐久オートバイレース)

●内容

ケニー・ロバーツと平忠彦のヤマハ・テック21チームの活躍ぶりを中心に、迫力あふれるFZR750のレースシーンを収録

●価格

6,000円(但し、数量に限りがありますので一店につき斡旋は2本以内とさせていただきます。また、版權等の関係によりお

クルメイトヒロシ・阿尾和彦社員、前列左より大島輪店・手塚克也社員、レーシングサブライ・海野久弥社員

⑧/6、8の4～DOHCコース(東京)  
後列左よりバイクショップブウエタ・小山敏社員、YSP南川崎・三瓶広美社員、YSP宇都宮東・高山英社員、前列左より秋山

客さまへの斡旋は一切行いません。  
●出荷  
9月初旬予定(地域によっては多少遅れる場合もあります)

イベント告知にお使いください!

レースはもちろん、ツーリングやバイクビレッジ、そのほかお店独自のイベントを告知する店頭インフォメーションポスターが完成。イベント開催にあたっては、記入欄に必要事項をハッキリ書き込み、より多くのお客様さまに参加の呼びかけを行なうとともに、YES S S スタッフの特典(例えば会費の割引等)もアピールしてください。

●品目

YES S インフォメーションポスター

モータースポーツのメッカ・スポーツランドSUGOで、この秋、2つのビッグレースが行われます。ひとつは恒例のビッグイベント「TBCビッグロードレース」で、もうひとつは85全日本選手権シリーズ最終戦「モトクロス日本グランプリ」。いずれも海外より超一流ライダーを招いて、白熱したデッドヒートが展開されます。

●第13回TBCビッグロードレース

●タイムスケジュール

10/4(金) フリープラクティス  
10/5(土) 車両検査、公式練習、ライダーズミーティング、公式予選  
10/6(日) 500cc第1レース、F3レース、500cc第2レース

●格式  
500ccクラス=インターナショナル格式

F3クラス=国内格式

●観戦料金  
前売=大人2,500円/子供500円  
当日=大人3,000円/子供500円

●第22回モトクロス日本グランプリ大会

●タイムスケジュール

10/12(土) 公式予選(125cc、250cc)  
10/13(日) 決勝レース(125cc、250cc)

●観戦料金  
前売=大人2,000円  
当日=大人2,500円/子供500円

※詳しくは、スポーツランドSUGO営業課(02224833111)、SUGO仙台営業所(022221668401)、SUGO東京営業所(034560191)までお問合せください。



※詳しくは、担当セールスマンもしくはヤマハ営業所のS Lマンにお問合せください。

●サイズ(印刷)  
A3サイズ(4色刷り)

●価格  
50枚1セットで2500円

サイクル・秋山浩邦社員、樺カナディアン・磯山俊之社員、鈴木輪業・鈴木博光社員

※詳しくは、最寄りのヤマハ特約店・販売会社の営業技術課までお問合せください。

# YSSP大阪東ツーリングクラブ

YSSP大阪東(株)・吉田純一社長、浅木森知樹店長／大阪府八尾市洪川町1-32

ツーリングからYRSサーキットランやオフロードYRS、さらにはロードレースやモトクロスまで、メンバーにあわせて活動の幅を広げている、それが『YSSP大阪東ツーリングクラブ』のみなさんです。

## ●悩みはメンバー全員に合わせたコース設定

「うちのクラブは、お客さんなら誰でも参加できる自由な集まり。雰囲気はまさに同好会だね」と開口一番、お店の総責任者・浅木森店長は語ります。

会則や会費など一切なし。なにしろ下は16才から上は62才と幅広く、考え方もまったく異なるクラブ員をひとつ会則のもとにまとめるのはとても無理。おまけに、会費を徴収するとその使い途などで細かい問題がたふさふさ出てくるから、というのがその理由です。

じつは、こうした自由なシステムを採用するに至ったのは、2年ほど前の苦い経験があ

ったからです。

「当時、同じようなツーリングクラブがあって、30名ほどでしたけれど会則を作り、会費を集めて活動していたんです。でも結局長続きしなかった。クラブ員同志の意見のくい違いが目立ってきて。クラブの中に小グループがいくつかできてしまった。それがだんだん店の中にまで浸透してしまつたんで、これは解散するしかない、ということになった。

なにしろツーリングの目的地やコースをひとつ決めるにも、そんな小グループ間の好き嫌いが出てくるんだからね……」

この貴重な経験が、現在の自由な活動に十分に活かされているのですが、もっかの活動は、毎月1回の日帰りツーリング、年に2回

の1泊ツーリング、そして年末の忘年会ツーリングが定例行事。

「参加者は毎回30人前後です。でもあまりにも一般的なコースだと若い子が来ない。逆に長距離だとアゲルトはお休み。コースづくりの悩みは、いつまでも尽きないね」と浅木森店長。

そんな中で、もっかクラブ員に人気のツーリングコースは、三重県の青山高原、天の橋立それに和歌山の日野岬。これがベスト3とか

「コースの設定ばかりでなく、いかに安い費用で面白く走れるかにも、いろいろと工夫をこらしているよ。なにしろその都度、お客さまが実費負担するのだからね。当然、高速道路は、使わない……」

とはいえ、ツーリング参加者には必ず1日だけの掛け捨て交通保険(500円)に加入していただくなどの配慮は怠りません。

## ●ロードへ、オフロードへ広がる活動

さて、クラブ員の中には「もつとバイクが上手になりたい」とか「走りを楽しみたい」という若者も少なくありません。そんなヤングにいま大人気なのがYRSサーキットランコース。昨年静岡県袋井市のヤマハコースで行なわれたYRSには、クラブ員40名が参加。ぜひもう一度」という声が相ついで上がっているほどの好評ぶりです。

一方、オフロードYRSも、地域の販売店9店さんの持ちまわり主催で開催されていますが、これにもクラブのメンバーは頻りに参加しています。

また同時に、「YSSP大阪東ツーリングクラブ」では、そんなオフロード派のクラブ員を集めて、お店の定休日の前日・火曜日の午後10時から翌朝3時までオフロードの「ミッドナイト・ツーリング」を開いています。

このように、ごく一般的なツーリングクラブの中から、オンロードの走り、オフロードの楽しさをさらに追求してみたい、という人たちが現われているのも、このクラブの最近の傾向。そんなところから現在では、ロードレースとモトクロスのレーシングクラブも誕生しました。もつとも、ホヤホヤのロードレース・クラブは、ライダー3人にメカニックとヘルパーが30人というほど。またモトクロスもライダー1人に、メカ4人というほほえましさ。もちろん、この中のかかりの人がツーリングも合わせて楽しんでいるのです。

## ●時にはバイクを離れたクラブ員の親睦も

「ツーリングの方はメンバーに合わせて活動をもつと細分化させていきたいと思つていますが、それよりツーリングだけでなくクラブ員が一緒になって遊べるような方法を考えていきたい」。これが浅木森店長のクラブ運営に

おそろいのTシャツでサマーフェスティバルにも参加した『YSSP大阪東ツーリングクラブ』のみなさん



# メンバーにあわせた遊びを企画して 魅力いっぱいのクラブ活動を展開



いつも明るい笑顔でお客さまを迎える「YSP 大阪東」のみなさん。中央が浅木森店長

対する考えです。

そんな活動のひとつとして、この夏7月28日には、バスを1台チャーターして鳥取への海水浴ツアーを実施しました。

「たまにはバイクを離れて、クラブ員同士のコミュニケーションを深めていたかどうかと企画したもの。25名が参加しましたが、全員が思いつくり遊べるから」と好評でした。年に1度くらいは、こんなバイクを離れた催しもいいですね。また、8月3・4日のヤマハのサマーフェスティバル・イン・三木でも、クラブ員揃ってスクーター耐久レースに参加しましたが、これからも色々と工夫をこらしたクラブの活動メニューを増やし、クラブの輪を広げていきたいですね」と語っています。



# 『商売は物、心、体』をモットーに ユーザーを増やし、固定客を育てる！

オートスポーツショップ(有)トヨキ渡辺商会 渡辺誠社長  
 札幌市中央区北6条西25丁目 ☎011(641)5878

内地とは異なりバイクシーズンは4月から10月までという北海道。この限られた期間に販売店さんは新しいお客さまを開拓し、お店の固定客として育成するための活動を、集中的に展開しているのです。『有トヨキ渡辺商会』さんも、そんな北海道の販売店さんの典型。渡辺社長の工夫をこらした活動が、この夏もお客さまの人気を呼んでいました。

## ●お客さまの変化にあわせて イメージチェンジ

15年ほど前、わずか7㎡の小規模なお店でモトクロス好きの若者を主体としてご商売を

開始した『トヨキ渡辺商会』さん。昨年の4月には、札幌と函館を結ぶ産業道路、旧国道5号線に面したテナント・ビル1階に55㎡の新店舗をオープンしました。それを機会に、マネアックだったお店の雰囲気もガラリと一



昨年の6月に中型免許を取得した奥さま千恵子(右)さんは、渡辺社長(左)の強力な右ウデ。お客さまたちとのツーリングにもいつも同行します

新して、明るく誰でも入りやすいものになっています。

「この10年、お客さまもずいぶん変わってきましたね。お客さまの多くはバイクのカッコ良さやツナギ姿に憧れて来店する。当然、明るくて入りやすい店で、しかも品揃えがしっかりしていることが求められる。」

そんなお客さまの変化に合わせて店も新しくしたんですが、とくに明るくしたことで新規ユーザーの増加が目立っていますね。以前は代替8割、新規2割でしたが、代替を減らすことなく新規が5割にもなっていますからね。女性の固定客も20名もいるんですよ……」

というわけで、時代の変化に合わせた渡辺社長のイメージ作戦は、みごとに成功しているようです。

## ●遊びを教えて、お客さまを拡大

6割はスポーツユーザー。オンロード、オフロードの比率は半々。主体は30歳前後の男性で、ヤングや女性ライダーも増えてつつあるというのが、『トヨキ渡辺商会』さんのお客さまの現状。そして、渡辺社長がお客さまを拡大策として重点的に取り組んでいるのがバイクの楽しみ方の普及です。

「バイクの遊び方を知らない、これも最近のお客さまの特徴なんです。そこでうちでは、遊び方を教える、長くバイクを楽しんでいただくこと、いろいろな活動を定期的に開催しているんです。」

4月から10月までのシーズン中は、毎月1回定例ツーリングを行なっています。新規客の動員にとくに力を入れ、DMと店頭告知で参加者を募ります。このツーリングの特徴は、走り以外の遊びを必ずつけ加えていること。例えば、ぶどう狩り、などですね。これによって初めての人も、気軽に参加できるよう

にしているんです。

## ●スクーターから中型へ、 上級移行を積極的に促進

この定例ツーリングとあわせて、渡辺社長はスクーターから中型バイクへのステップアップの促進を重視。このための活動としてスクーターツーリングも行なっています。

「いまのスクーターのお客さまの間には、『中型スポーツにステップアップしたい』なんて意識が本当に少ないですね。スクーターだけで終わってしまう。特に女性は自転車の延長でスクーターに乗ってるわけですから、よいそうなんです。」

うちは4割がスクーターのお客さまですが、そんな意識では困るんですね。そこで店が忙しい夏を外して、秋にスクーターツーリングを行ない、ツーリングの楽しさを教えてあげているんです。また、定例ツーリングの時に、スクーターのお客さまをリヤシートに乗せて同行することもあります。

これだけでもスポーツバイクの楽しさを教えるには十分。一緒に遊ぶことで、ステップアップユーザーも確実に増えていますよ」

## ●女性に的を絞った アプローチも

そして、もうひとつ『トヨキ渡辺商会』さんのユニークな活動があります。最近増加のめざましい女性スポーツユーザーだけを対象にした『夏のナイトツーリング』です。

「札幌―小樽間を交通量の少ない夜間に走るんです。女性ライダーのほとんどは、スクーターからの移行組。もちろん1人でツーリングに行く自信などないし、長距離を走った経験もない。そんな女性たちに、ツーリングの

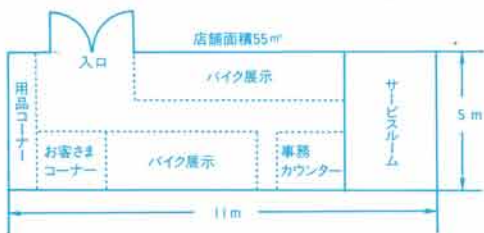




明るい店内、充実した品揃えの新店舗は、「自信を持って友人に紹介できます」とお客さまにも好評



POPを巧みに使って、事務コーナーも楽しく演出



お店の前は旧国道5号線。ホットコーナーに展示したFZ250が、格好のアイキャッチャーとなっている



↑独自のアンケート調査やそれにもとづくアフターフォローDMも、しっかりと実行されている

→このところ女性ライダーの参加が目立つ、月1回の定例ツーリング

シャレたステッカーで、お店のイメージアップも

『商売のモットーは物・心・体』とも話す渡辺社長。物とは、いい商品を揃えること。心は、売る側の心、初めての来店された時からのお客さまに接する誠実な態度。体は体力。渡辺社長ご自身の情熱と、お店のアフターサービス力……この3つをモットーに、渡辺社長は今日も、新しいお客さまの開拓と、固定客の育成に意欲的に取り組まれています。

なぜって、お客さんが友人に話す時でも、いつも新聞に載っている店だよ、って自信を持って言えるし、紹介もできるからです」

折込みチラシは、新規客獲得のために来店客を増やそうと続けているもの。また新聞広告は、日刊スポーツと道新スポーツのテレビ番組欄の小さな店名広告です。週に1度だけですけれど継続することで店のイメージ定着と固定客へのアフターフォローには効果を発揮しているんですよ。

「DM、折込みチラシ、新聞広告がうちの広告の3本柱です。DMは定期点検のご案内が中心。これにもツーリングなどイベント情報を加えてニュース性を出しています。」

誰もが入りやすい明るい店舗、そしてお客さまに合わせた多彩な「遊び」の提供。こうしたお店の姿勢を外に向かって告知する広告宣伝活動もしっかりと行なわれています。

●DM、チラシ、新聞広告で幅広い広告活動

「DM、折込みチラシ、新聞広告がうちの広告の3本柱です。DMは定期点検のご案内が中心。これにもツーリングなどイベント情報を加えてニュース性を出しています。」

「女性特有の心理で、男みたいに1人で遊ぶことが少なく、いつも友だちと一緒にいるのがあるんじゃないですかね。」

それと、この4月の全国一斉発表展示乗会の時に、女性ユーザーに的を絞ったアンケート調査を行なったんです。そこで判明したのは「私はどこのお店のお客」という意識がほとんどないということ。ということは1人の女性ユーザーを固定客にすれば1人、2人と確実に増えていくわけですからね……」

■新商品コーナー

## 秋・冬ウェアの拡販で 用品のご商売をさらに拡大!

ライディング感性を追求する「ヤマハライディングウェア」から、この秋、新たに'85-'86秋・冬ライディングス・コレクションが発表されます。すでに本誌前号でその一端をご紹介しましたが今回はレザー・アイテム、オフロード・アイテム、チームヤマハ・アイテムの3シリーズをご紹介しましょう。なお、当商品は9月から10月にかけて順次新発売されますので、多くのお客さまにおすすめていただき、用品需要の拡大をおはかりください。



膝にプラスチックパッド、肩、腰、膝上にシャーリングを採用し、安全性と快適さを追求。●素材：表/良質牛皮、裏/ポリエステルメッシュ(マーバス) ●カラー：ホワイト・レッド・グレー&ブラック、ホワイト・イエロー・グレー&ブラック、ホワイト・サックス&ネイビー ●サイズ：M、L、LL。 ■価格/135,000円



### YL320 ヤマハレーシングスーツ

膝にプラスチックパッド、肘にレーシングパッド、背中にフルパッドを採用し、安全性を徹底追求。●素材：表/良質牛皮、裏/ポリエステルメッシュ(マーバス) ●カラー：ホワイト&レッド ●サイズ：M、L、LL。 ■価格/145,000円



快適なツーリングのために、膝に脱着式パッド(別売)、肩と腰にシャーリングを採用。●素材：表/良質牛皮、裏/ナイロンメッシュ ●カラー：ホワイト・グレー&ブラック、ホワイト・レッド&ブラック、ホワイト・サックス&ネイビー ●サイズ：M、L、LL。 ■価格/110,000円

## GLOVES

### YL508 ジオラマSPウィンター

保温性にすぐれた4層構造の素材を採用した最高級グローブ。●素材：表/良質牛皮、中綿/シンサレート、ゴアテックス、裏/ポリプロピレン ●カラー：レッド&ホワイト、レッド&ブラック、サックス&ネイビー、イエロー&ホワイト。 ●サイズ：フリー。 ■価格/14,800円



### YL509 ジオラマウィンターグローブ

●素材：表/良質牛皮、中綿/ストレッチ、バイウォーム、裏/ベンベルグ ●カラー：レッド、ブラック、ホワイト ●サイズ：S、フリー ■価格/8,200円

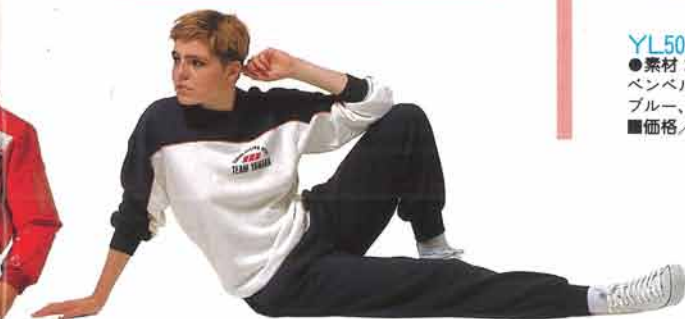


### YL503 ジオラマウィンターグローブ

●素材：表/良質牛皮、中綿/シンサレート、裏/ベンベルグ ●カラー：レッド&ブラック、レッド&ブルー、サックス&ネイビー ●サイズ：フリー。 ■価格/11,000円



## TEAM YAMAHA



### チームヤマハスウェットシャツ

●素材：ポリエステル30%、綿70% ●カラー：レッド&ホワイト(オンロード)、ネイビー&ホワイト(オフロード) ●サイズ：M、L。 ■価格/6,400円

### チームヤマハスウェットパンツ

●素材：ポリエステル30%、綿70% ●カラー：レッド(オンロード)、ネイビー(オフロード) ●サイズ：M、L。 ■価格/6,800円

### チームヤマハジュニアブルゾン

●素材：表/ポリエステル100%、ウレタンコーティング、中綿/バイウォーム、裏/ポリエステル100%(マーバス) ●カラー：レッド&ホワイト(オンロード)、ネイビー&ホワイト(オフロード) ●サイズ：6才用、9才用。 ■価格/15,800円



お揃えください!  
「ウェアカタログ」  
'85-'86秋・冬ライディングス・コレクションおよび'85チームヤマハ・オール商品の最新カタログが完成しました。お店に1冊お揃えいただき、多くのお客さまにお見せください。  
①'85-'86オール&ウィンター・ライディングスコレクション 単価価格10000円  
②'85チームヤマハ・オールグッズ 単価価格5000円

# '85-'86 FALL & WINTER RIDER'S COLLECTION

## OFF ROAD



### MY100 エンデュロジャケット

防寒、防塵、防水性に、もちろん機能性も重視したエンデュロジャケット。限定商品。●素材：表/420 Dナイロンオックス、中綿/サンステート、裏/ナイロン100%●カラー：レッド&ホワイト●サイズ：M、L、LL。●価格/19,800円



### ジュニアクロスジャージ

●素材：綿、ポリエステル●カラー：レッド&ホワイト、●サイズ：9才用、12才用。●価格/4,800円

### ジュニアクロスパンツ

●素材：420 Dナイロンオックス、ウレタンコーティング●カラー：レッド&ホワイト●サイズ：9才用、12才用。●価格/18,000円

## BOOTS



### YL608 ヤマハレーシングブーツ

前後シャーリング仕様、サイドチャック、レーシングソール、内側にはスポンジパッド付。●素材：良質牛皮●カラー：ホワイト・ブラック&レッド、ブラック・レッド・グレー&ホワイト、ネイビー・ブルー・サックス&ホワイト、ブラック・イエロー・グレー&ホワイト●サイズ：24.0cm~27.0cmまで0.5cm単位で7サイズ。●価格/30,000円



### YL609 ジオラマスポーツブーツ

動きがさらに楽になるアジャスタブルシャーリング付。●素材：良質牛皮●カラー：ブラック・レッド・グレー&ホワイト、ネイビー・ブルー・サックス&ホワイト、ブラック・イエロー・グレー&ホワイト●サイズ：24.0cm~27.0cmまで0.5cm単位で7サイズ。●価格/23,000円

### チームヤマハバリエーション

●素材：表/ポリエステル100(ラロック)、中綿/バイウォーム、裏/TICウレタンコーティング●カラー：表/レッド&ホワイト(オンロード)、ネイビー&ホワイト(オフロード)、裏/ブルー●サイズ：M、L、LL。●価格/23,000円

### チームヤマハオーバーパンツ

●素材：表/210 Dナイロンオックス、裏/ナイロンキルト●カラー：レッド&ホワイト(オンロード)、ネイビー&ホワイト(オフロード)●サイズ：M、L、LL。●価格/11,800円



### チームヤマハウインタースーツ

●素材：表/210 Dナイロンオックス、裏/ナイロンキルト●カラー：レッド&ホワイト(オンロード)、ネイビー&ホワイト(オフロード)●サイズ：M、L、LL。●価格/18,000円



YL321  
ジオラマ  
スポーツスーツ



YL322  
ジオラマ  
ツーリングスーツ



## in rap·ture

rapture n) 有頂天、狂喜、歡喜。vi) 有頂天にさせる、狂喜させる。  
raptured a) 有頂天になった。  
into raptures over ...に有頂天になる。  
be in raptures 有頂天になっている。

ヤマハは、「in rapture=イン・ラブチュア」をテーマに、ライダーの感性と若者のライフスタイルを見つめてライダー用品を開発。ライダーのニーズに応えるとともに、新しいライディングライフを提唱しています。

# THE LATEST AD GUIDE

**INTELLIGENT FIGHTER**

もっと新しいストローブマシン、コンセプトは「レスポンス」から生まれた「インテリジェント・ファイター」の登場。コントロールが容易で、その性能の向上が期待される。また、最新の電子制御システムにより、より安全な走行が可能。また、最新の電子制御システムにより、より安全な走行が可能。

GENESIS  
Liquid Cooled 250cc 4-Stroke  
SUPER QUARTER  
**PHAZER**  
FZ250

YAMAHA

**55mph** vol.4

スペイン特集など、充実の100ページ、1冊500円

YAMAHA

**HAVE A NICE RIDE!** ナイスライディングをよろしく。 ■ヘルメットを正しくおはきし、■肩、背、腰も忘れずに。 ■安全のため改造はやめよう。 ■安全のため改造はやめよう。 ■安全のため改造はやめよう。 ■安全のため改造はやめよう。

■インテリジェント・ファイター——これは9月発売の2輪専門誌に掲載するF Z 250フェーザーの第2期広告です。

■レーシーを超えた斬新なフォルム、4サイクルのイメージを一新した圧倒的なポテンシャル——そんなF Z 250フェーザーの個性を、高性能知性体インテリジェント・ファイターの言葉に集約して表現したものです。

■7月からはブラックカラーも追加され、ますます快調にお客さまを増やしているF Z 250フェーザーの人気にさらに拍車をかけようと、9月には『F Z 250フェーザー・ドレスアップコンテスト』（詳細は本誌28ページ。9月1日発売の月刊オートバイ誌で告知）も開催します。

スポーツの秋のメイン商品として、お店でもどうぞF Z 250フェーザーの積極的な拡販活動をご展開ください。